

令和7年度

活動記録

令和8年3月

宮城県特別支援教育研究会

視覚障害教育専門部

～ 目 次 ～

【巻頭言】

視覚障害教育専門部長 宮城県立視覚支援学校長 名倉 洋	2
-----------------------------	---

【令和7年度 視覚教育専門部 活動記録】

視覚障害教育専門部事業報告	4
総会(記録)	5

【令和7年度 視覚教育専門部 研修会資料】

第1回研修会資料 研修会「今から始める視覚障害教育 ～明日から実践～」	
講師 本校相談支援センター長 教諭 中澤由美子	8
第2回研修会資料 研修会「UD ブラウザの基本と応用」	
講師 宮城県立視覚支援学校 主幹教諭 横山 繁徳	31
第2回研修会 情報交換会 記録	65
第2回研修会 事後アンケート	67
第3回研修会資料 「視覚障害児童生徒の個に応じた指導・支援の実践発表」	
実践発表①	
「学習プリント作成するときの配慮」	
宮城県立視覚支援学校 教諭 荒 政浩	69
実践発表②	
「点字入門時期の算数指導の工夫～地域の小学校弱視学級における取組～」	
登米市立石越小学校 教諭 後藤 薫	81
第3回研修会 実践報告 質疑応答記録	96

【資料】

役員名簿	99
------	----

令和 7 年度 実践集録 発刊に寄せて

宮城県特別支援教育研究会
視覚障害教育専門部 部長 名 倉 洋
(宮城県立視覚支援学校長)

会員の皆様におかれましては、日頃より本県の視覚障害教育の充実に向け、多大なるご尽力を賜っておりますことに深く敬意を表します。また、弱視学級設置校をはじめとする関係各位には、この一年間、本専門部の活動に対し温かなご理解と多大なるご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

本専門部は、弱視学級担任と視覚支援学校教員が会員となり、専門性の維持・継承、そして視覚障害教育のさらなる発展を目指して、互いに手を取り合い、研究を進めてまいりました。今年度の歩みを「実践集録」として一冊に結実させるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本県における視覚障害教育の現状を顧みますと、今年度の弱視学級は小中学校合わせて 33 校、在籍児童生徒数も 33 名を数えます。この 10 年間、設置校数は概ね 30 校前後で推移しており、地域の中で共に学ぶインクルーシブ教育システムが着実に定着していることが伺えます。一方、視覚支援学校の在籍者数は現在、幼稚部から専攻科まで合わせて 42 名となっており、200 名近い在籍があった昭和 40 年代と比較すれば 5 分の 1 程度に減少しています。しかし、現在も本校が県内の視覚障害教育の中心であることに変わりはなく、その役割はこれまで以上に重要になっていると考えています。

地域での学びをより豊かなものにするためには、一人一人の「見え方」に応じた専門的な支援が不可欠です。しかし、視覚障害教育、とりわけ弱視教育における難しさは、眼疾患等によって見え方が千差万別であり、画一的な対応が困難な点にあります。特に先天性の場合は自らの見え方を客観的に把握しにくく、「見えにくさ」そのものに自覚がないことも少なくありません。こうした個別性の高い指導を支えるのは、長年培われてきた専門的な知見に他なりません。

そのため、本専門部では今年度も「明日から使える知恵と技」を共有すべく、研究活動に注力してまいりました。中澤由美子教諭、鈴木いつみ教諭、宍戸美奈主任寄宿舎指導員による「視覚障害教育の基礎」や「誘導法」、横山繁徳主幹教諭による「UDブラウザの基本と応用」、そして石越小学校の後藤薫教諭や本校の荒政浩教諭による「実践報告」など、現場に即した知見を全県の皆様へとお伝えしてまいりました。

本刊行物は、これら一年間の研究成果や各教室での試行錯誤を丁寧にまとめたものです。本書に記された研究・実践報告が皆様の道標となり、専門性が広く共有されることで、本県の視覚障害教育がさらに発展していくことを切に願っております。結びに、本県視覚障害教育への変わらぬご理解とご協力を重ねてお願い申し上げ、巻頭の言葉とさせていただきます。

令和7年度 視覚教育専門部 活動記録

視覚障害教育専門部 令和7年度事業報告

専門部部長 宮城県視覚支援学校 校長 名倉 洋
 事務局 宮城県立視覚支援学校
 幹 事 宮城県視覚支援学校 主幹教諭 横山繁徳
 登米市立石越小学校 教諭 後藤 薫

	期 日	名 称	内 容	場 所	参加者
研修会等	6月17日 (火) 14:00～ 17:00	研修会① 講話 総会	<講話> 「今から始める視覚障害教育～明日から実践～」 視覚支援学校 相談支援センター長 教諭 中澤 由美子 総会 ・令和6年度事業報告・会計報告 ・令和7年度計画・予算案	対面とオンラインのハイブリット形式 会場：宮城県立視覚支援学校	オンライン6名 会場25名 (来校5名)
	7月25日 (金)	宮城県特別支援教育研究会 夏季研修会	<研修(体験型)> 「目の不自由な方への誘導法」 視覚支援学校 歩行訓練士3名 教諭 中澤 由美子 教諭 鈴木 いつみ 主任寄宿舎指導員 穴戸 美奈	宮城県立光明支援学校	25名
	7月28日 (月) 13:30～ 15:30	研修会② 情報交換会	<研修> 「UD ブラウザの基本と応用」 視覚支援学校 主幹教諭 横山 繁徳 情報交換会 ※午前中に実施される、視覚支援学校研究部主催の研修にも参加	対面とオンラインのハイブリット形式 会場：宮城県立視覚支援学校	オンライン2名 会場20名 (来校9名)
	令和8年 2月5日 (木) 15:30～ 17:00	研修会③ 実践報告会 代表者会	<実践報告会> 発表者 石越小学校 教諭 後藤 薫 視覚支援学校 教諭 荒 政浩 代表者会 ・令和7年度事業報告・会計報告 ・令和8年度計画案・予算案	対面とオンラインのハイブリット形式 会場：宮城県立視覚支援学校	オンライン8名 会場22名 (来校2名)

	名 称	規 格		発行部数 発行回数	内 容	頒布先
		版	ページ数			
成果刊行等	研修・実践集録	PDF	20P 程度	年1回	・校内での発表や指導案等 ・実践報告 研修会の内容等	視覚障害教育専門部会員 メール配信・HPに保存

令和7年度 宮城県特別支援教育研究会視覚障害教育専門部 総会(記録)

日時 令和7年6月17日(火) 14:30

会場 宮城県立視覚支援学校 3F 会議室 (オンライン併用)

1 第1回研修会 14:30～

研修会「今から始める視覚障害教育 ～明日から実践～」

講師 本校相談支援センター長 教諭 中澤由美子

参加者 県内弱視特別支援学級 会場 5名、オンライン14名

※13:20からの学校見学会には2名参加

2 総会 15:45～

参加者 県内弱視特別支援学級 会場 5名、オンライン6名

宮城県立視覚支援学校 30名程度

(1)開会

(2)視覚障害教育専門部長あいさつ 本校 校長 名倉 洋

全県に広がる弱視学級の担任の先生方と授業実践等、情報を共有することで、児童生徒へよりよい教育を行えればと思う。指導上何か迷うこと等あれば、本校の相談センターをぜひご活用いただきたい。

(3)参加者紹介(事務局のみ)

(4)議長選出 本校 主幹教諭 横山文武

(5)協議・報告

1)令和6年度事業報告・決算報告

2)令和7年度事業計画案・予算案

→事業計画案 →承認

→予算案:令和7年度活動費を徴収しない⇒承認

3)令和7年度役員案⇒承認

(6)連絡

①夏季研修会・・・7/25(金) 会場:光明支援学校 各自で申し込み

※別紙資料(添付)参照

②HP・・・視障専部のHP(視覚支援学校ホームページ内)

https://myg-shikaku.myswan.ed.jp/page_20200501051504

認証キー 2020miyatokus

必要な資料をクリックして上の認証キーを入力してください。

③実践集録・・・A4 1枚程度で作成をお願いしたい。

3 情報交換会 15:15～

参加者 県内弱視特別支援学級 会場 5名、オンライン6名

(1)自己紹介 弱視学級担任

岩沼南小・若林小・鹿野小・船岡中・南小泉小:会場5名

玉川小・河南東中・住吉台小・石越小・歌津中:オンライン参加5名

(2)相談支援センターからの情報

- ・ 弱視学級情報交換会(年4回)の案内。各校に案内済みだが申し出により再送可。
- ・ 視覚障害教育相談会7月19日PMの案内。各校に案内送付済み。
- ・ 弱視学級等交流会の案内。

(3)情報交換

- 公立高校受験の際について必要な教員の動き(河南東中からの質問)
(相談センター中澤より)

受験校を決める進路指導の必要がある。オープンスクールに行き、個別相談をおすすめする。進路指導では弱視の生徒の意志を聞き取り、高校に伝える。
高校から教育委員会に連絡。教育委員会から試験の際の配慮事項の聞き取りがある。
弱視1.3倍、盲1.5倍の時間延長が基本認められる。たとえばルーペの使用や試験問題の拡大の必要の有無など。
1例を挙げると、リスニングの絵を見て把握する時間を設けるなどの事例もある。試験の配慮事項については、普段の定期試験から同様の配慮や支援を行っている必要がある。
- 自立活動についての質問が多数あり。
(相談センター中澤より)

①興味や関心を見定めることが重要である。視覚以外の具体的な体験を通して概念形成を行うことが大切。ICTを用いて、学習の効率化や正確さをあげることが有効な支援である。たとえばUDブラウザの字体を変えるなど。ゴシックや明朝体など、とめ・はらいなど見やすい物を用いるのが良い。

②移動、歩行指導が大切。白杖や誘導での移動の練習を行う必要がある。移動するルートに何があるか把握・認識できていないこともある。また、ルーペや単眼鏡の見方、UDブラウザの使い方など、先生方が研修会等を通してスキルアップを。

令和7年度 視覚教育専門部

第1回 研修会資料

今から始める視覚障害教育 ～明日から実践～



宮城県立視覚支援学校
相談支援センター長 中澤 由美子

視覚障害とは

視覚障害とは、視機能の永続的な低下により、学習や生活に支障がある状態を言う。

何らかの方法で改善したり、短期間に回復する場合は視覚障害とは言わない。

→眼鏡、コンタクトレンズで矯正できる場合や、けが等による視力低下で一時的な場合は該当しない。

視覚障害の種類（視機能評価の観点）

- 【視 力】 矯正しても視力が上がらない
- 【視 野】 求心性視野狭窄、中心暗点、半盲
- 【光 覚】 明順応・暗順応障害、羞明、夜盲
- 【眼球運動】 眼球振とう、斜視
- 【両眼視】 遠近感、立体視の困難
- 【色 覚】 色の認識に障害が生じ、赤や緑など
特定の色の認識がしにくい

視覚障害児童生徒が抱える困難

学習面では

- ・動作の模倣、文字の読み書き、事物確認において困難が生じる。

生活面では

- ・移動が困難である。
- ・相手の表情が分からないため、コミュニケーション面で苦勞する場合もある。
- ・状況が分からないため、どう行動すればよいのか判断できない場合がある。

視覚障害を有する児童生徒

視覚障害教育の対象

(学校教育法施行令第22条の3)

「両眼の視力がおおむね0.3未満のもの、または視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの」
(視覚支援学校)

「～拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が困難な程度のもの」 (弱視特別支援学級)

一番前の席で、黒板の大きな文字が見えるのは、およそ視力0.3

大きな文字とは、
7.5cm× 7.5cm フォントサイズ
250ぐらい。

○月△日

□曜日

日直

★★

☆☆

視覚障害を有する児童生徒

教育上の区分

【盲児】幾分かの視力があっても文字や形態などを視覚的に認知することが困難であり、主として聴覚や触覚を活用した学習を行う必要のある者。主として、点字を常用している。

【弱視児】視力がおおよそ0.3未満の者のうち、通常の文字を常用するなど、主として視覚による学習が可能な者。

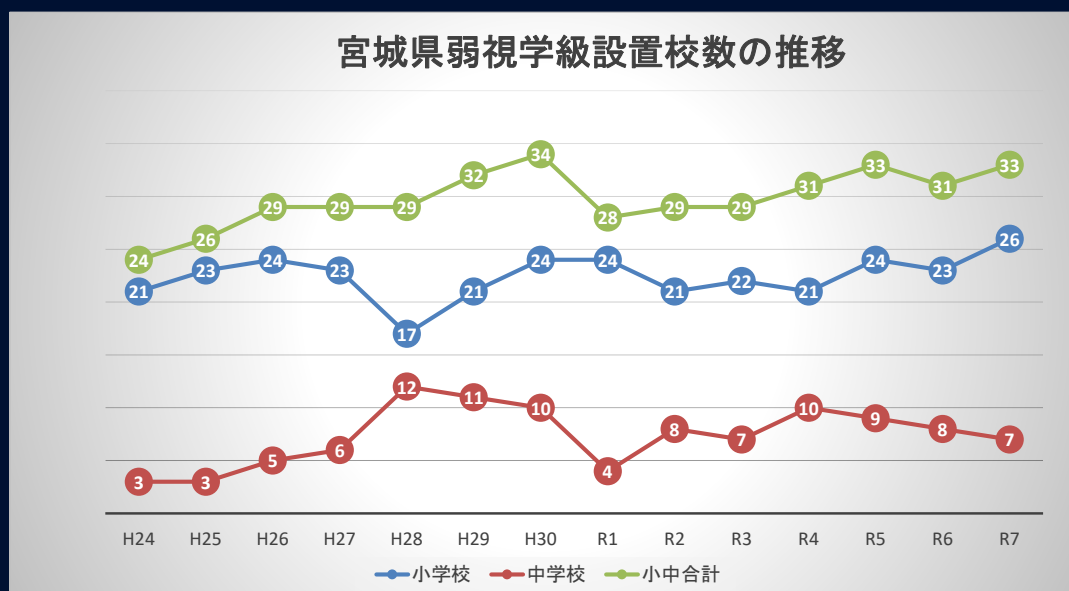
視覚障害児童生徒の教育の場

- 視覚(特別)支援学校
- 弱視特別支援学級(以下、弱視学級)
- 小学校・中学校の通常学級、高等学校
- 視覚以外の(特別)支援学校
- 通級指導教室 宮城県には無い

宮城県弱視学級設置校数・児童生徒数

年	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7
小学	21	23	24	23	17	21	24	24	21	22	21	24	23	26
新設	4	3	4	3	2	5	6	3	3	5	3	7	5	5
児童	22	24	24	23	17	21	25	25	22	24	22	25	24	26
中学	3	3	5	6	12	11	10	4	8	7	10	9	8	7
新設	1	1	3	1	7	1	3	1	4	4	4	3	3	1
生徒	3	3	5	7	12	11	10	5	8	7	10	9	9	7
小中	24	26	29	29	29	32	34	28	29	29	31	33	31	33
児童	25	27	29	29	29	32	35	29	30	31	32	34	33	33

宮城県弱視学級設置校数の推移



弱視児の指導の難しさ

弱視学級の担任が児童生徒の見え方を正しく理解することは難しい。

その理由としては、

- ・弱視児の障害の実態は一人一人違うため、マニュアル通りにはいかない。
- ・弱視児は、生まれながらにその見え方なので、自分の見え方を客観的に説明したり、見えにくさを訴えたりすることができない。

弱視学級担任の専門性や継続性に関すること

年度	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7
弱学	24	26	29	29	29	32	34	28	29	29	31	33	31	33
継続	13	9	9	10	9	13	12	10	7	6	10	11	7	7
担任	54 %	34 %	31 %	34 %	31 %	40 %	35 %	36 %	24 %	21 %	32 %	33 %	23 %	21 %

弱視学級の担任を2年以上継続した割合を示したもの



- ・担任が毎年替わる人が多い。
- ・視覚障害教育に初めて携わる担任がほとんどである。

本校のセンター的役割・連携の重要性

地域で学ぶことを意義あるものにするためには、
児童生徒の障害の実態に応じた専門的な指導・支援が
適切に行われる必要があります。

そのために大切なことは



- ・視覚支援学校の弱視学級への教育支援
- ・視覚支援学校と弱視学級設置校との連携

視覚支援学校と弱視学級設置校との連携

本校と弱視学級の担任の先生方が共に研修する機会を設定



- 宮城県特別支援教育研究会視覚障害教育専門部
年3回の研修会
- 本校職員対象の研修会へのご案内
専門研修・・・外部講師による講演
- 弱視学級情報交換会・・・Zoomミーティング
 - 6/17(火) 15:45～16:45
 - 8/26(火) //
 - 10/ 9(木) //
 - 12/16(火) //

その行動は見えにくさからでは？

弱視児の行動から読み取れることを考える

その行動は見えにくさからでは？

- ・遠くのものや小さいものに興味がない
 - ➡ 近い距離、手元で提示
- ・指示されたページを開くのに時間がかかる
 - ➡ 拡大教科書や電子教科書などの活用
- ・板書などの視写に時間がかかる
 - ➡ 手本はノートの横に、目の移動範囲をなるべく短く

書見台



教科書やノートとの視距離が近付き、
姿勢良く読み書きができる

その行動は見えにくさからでは？

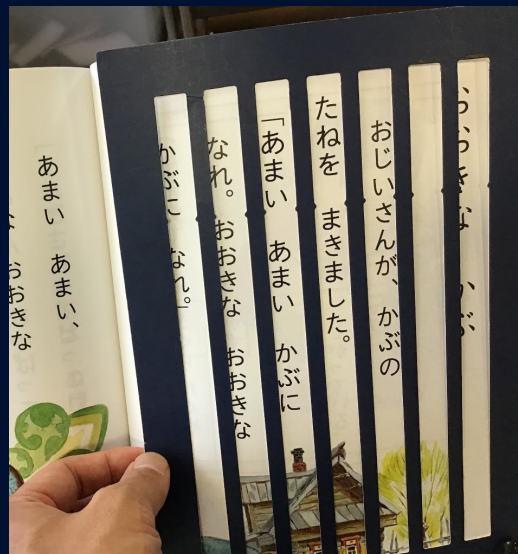
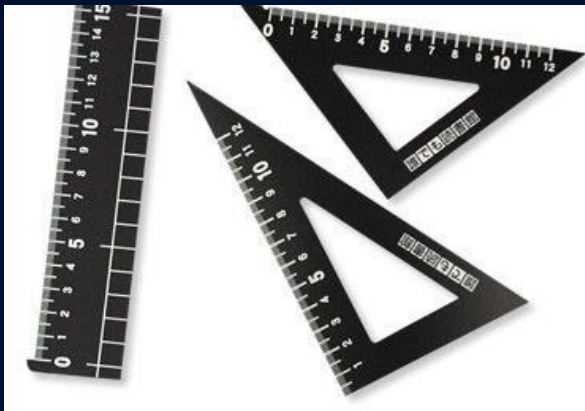
- ・文字がマスに入らない
→ ノートやプリントの罫線を濃くする
- ・行をとばして読んでしまう
→ ガイドや付箋の活用
- ・目盛りの読み取りが難しい
→ 文字や目盛りのはっきりした定規、
拡大読書器など、補助具の活用

ノート



罫線や枠が太くて濃いもの
教師の手作りノートも有効

定規・ガイド類



筆記用具



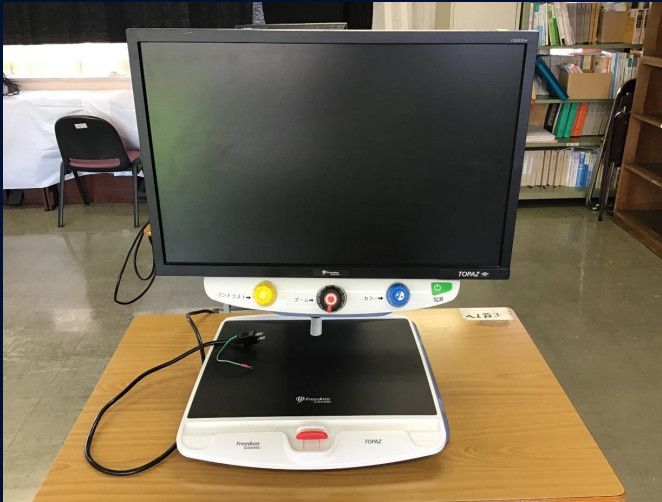
芯が濃くて太いシャープペンシルは
書きやすく、読みやすい

のり



色の付くもの

拡大読書器



読書や筆記の補助具



その行動は見えにくさからでは？

- ・体の動きがぎごちない
→ 全体の動き、細かな動きを動画や触察で知る
- ・ボール運動がうまくできない
→ 活動の場は同じでも個別の練習をする
- ・思い切り走ることができない
→ ट्रラックのコースやコーナーのラインを太くしたり紐で誘導して、ガイドラインを作る

反対色の綱やガイドライン



床の色と綱の色が反対色



紐を通した緑色の筒をつかむ

見えやすい環境づくり

- ◆大きくはっきり
- ◆情報の精選と単純化
- ◆見るものと背景のコントラストの強化
- ◆明るさの調整
- ◆デジタル機器の活用

羞明(まぶしさ)



遮光眼鏡



まぶしさを抑えるために使う

環

環

環

環

- ◆文字は、大きければ良いというものではありません。
- ◆強調を掛けることでかえって画数の多い文字は潰れて読めなくなってしまう。
- ◆色のコントラストも重要。
- ◆『読みやすい文字』というのは、一人一人違う。
勝手に決めつけるのではなく、弱視児に確認することが大事。

視覚障害の特性と実態把握

- ◆一人一人の見え方は多様
- ◆視力・視野などの視機能の状態の把握
- ◆丁寧な体験・経験の時間の保障
- ◆見え方に合わせた適切な支援
- ◆教員間での共通理解

指導・支援の在り方

環境の工夫

- ① 協力学級での座席の配置
- ② 明るさの配慮
- ③ 階段や段差，できればコントラストがはっきりするテープを貼る。
- ④ ロッカーや靴箱等は，一番上・端などの位置で，本人が分かる目印を付ける。
- ⑤ 廊下や教室の床には物を置かない。
- ⑥ 机上の文具は置く場所を決める。

指導・支援の在り方

その他

- ① 体育などでT1の動きをそばでT2が見せる。
- ② 球技のボールやルールの工夫
- ③ 観察対象の工夫
- ④ 本人の理解度の確認

視覚障害のある子供の教育における合理的配慮の例



事例1 体育

「マット運動は
苦手だな。
いったい、どうや
ればよいの？」



事例1 体育



実物を触って(触察)、体の形を知る

事例2 歩行指導

「一人で家に帰ることができるようになりたいな。」



下校時(通学路)の通常の様子を確認…実態把握



保護者
(祖母)の送迎

視覚支援学校の
歩行訓練士は
その様子を観察

白杖歩行を提案し、試してみる

担任
「そうやって
やるのか…」

歩行訓練士が白杖
歩行を指導する

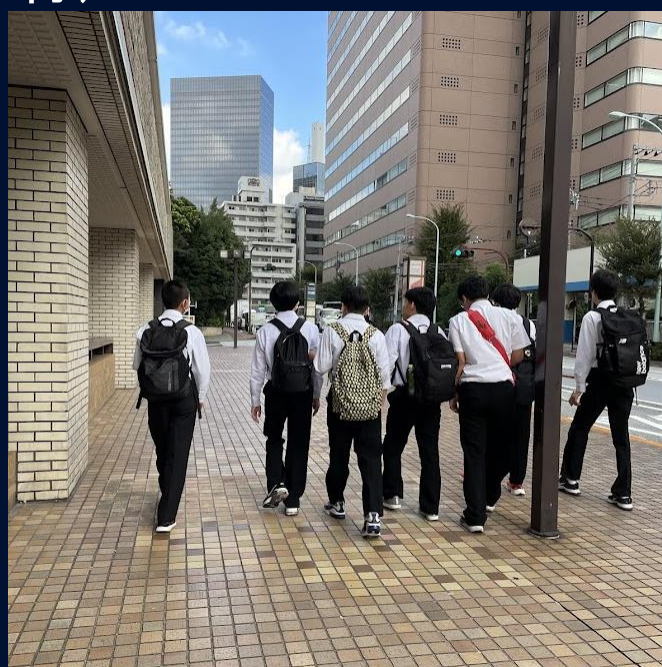
担任はその様子を
観察→その後、家庭
と連携して継続指導





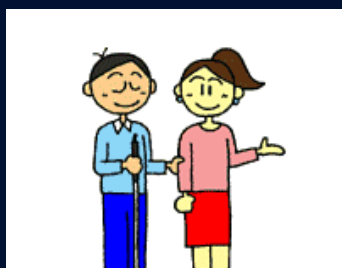
事例3 誘導法(ガイド歩行)

「修学旅行の自由研修は、
グループ行動。
友達に迷惑かけないか
心配だな。」



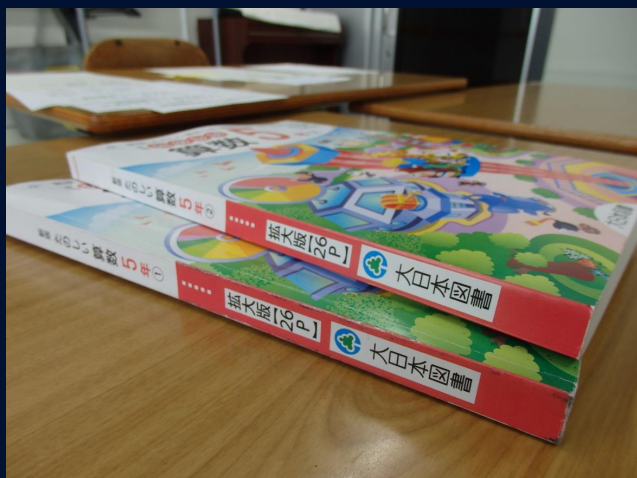
事例3 誘導法(ガイド歩行)

「友達と楽しく安全に活動
できました。」



事例4 拡大教科書がかさばるし、重いなあ

「拡大教科書って、かさばるし重いなあ。」



事例4 教科書・教材閲覧アプリ『UDブラウザ』

UD

「iPadだけで楽だな。
拡大教科書よりも見や
すいし、メモもできるか
ら便利。」



教科書と全く同じ紙面のレイアウトの固定モードと
フォントや配色等を自由に変更出来るリフローモードを
自由に切り替えて使えるハイブリッド・デジタル教材

<固定モード>

教科書と全く同じ紙面のレイアウトの固定モードと

便利な付箋機能もあるよ！

ページジャンプ機能で指定されたページを開くことが簡単！

キーボードからの操作も可能！

ラインマークや書き込みもできるよ！

<リフローモード>

①日本の政
構の特色

日本国憲法は、
が国民に存するこ
言」（前文）し、
日本国民は主権者
を獲得した。そして、大

フォント、
文字サイズ、
文字間隔、
行間隔等が自由
に変更可能！

読み上げてい
る場所がわか
るようにハイ
ライト表示し
てくれるよ！

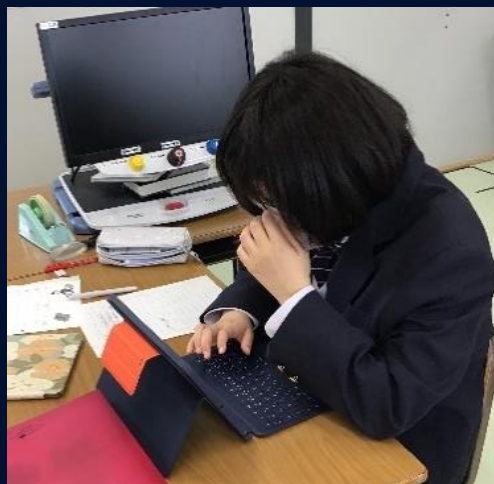
事例5 視覚補助具の選定・使い方

「見えないなあ。本当は、もっと勉強したいのに・・・できない。」



事例5 視覚補助具の選定・使い方

「今までは問題を最後まで解けなかったけれど、補助具を使ってから見直しする時間ができて良かったな。」



必要な拡大率

新聞を読むためには、0.5の視力が必要

$$\text{必要倍率} = \frac{\text{それを見るのに必要な視力}}{\text{実際の視力}}$$

視力(0.2)の場合

$$0.5 / 0.2 = 2.5\text{倍が必要}$$

視力(0.1)の場合

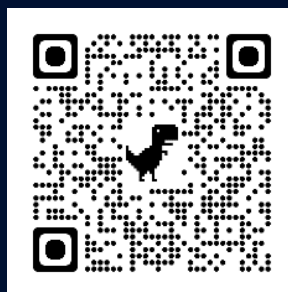
$$0.5 / 0.1 = 5.0\text{倍が必要}$$



見えにくさのある児童生徒への配慮や指導法で困っている場合は、視覚支援学校に御相談ください。

**宮城県立視覚支援学校
相談支援センター**

- TEL: 022-234-6333
- FAX: 022-234-7974
- Mail: mygshikakusoudan@od.myswan.ed.jp



視覚支援学校
キャラクター

令和7年度 視覚教育専門部

第2回 研修会資料

UDブラウザの基礎

令和7年7月28日（月）

本日の内容について

研修の流れ

- 第1部 UDブラウザについて概要
- 第2部 UDブラウザの基礎（使用法）
- 第3部 UDブラウザの応用（データ入力）
- 第4部 演習

実際に操作をしてもらいます。

UDブラウザとは

【教科書や教材を閲覧するためのiOSアプリ】

- 慶応義塾大学中野研究室が、弱視児童生徒の視覚特性や学習上のニーズ等に基づいて開発している。
- 教科書だけでなく、先生方がワード等で作成した自作教材やスキャナで読み取ったPDFファイル等を使うことも可能です。
- アプリダウンロードは誰でも可能（無料）

UDブラウザとは

【PDF版拡大図書】

- 紙の教科書と同じレイアウトのデジタル教材
- 弱視児童生徒の持ち運びやすさ、見やすさ、使いやすさ、セキュリティ等を考慮して作成されたタブレット端末(iPad)で利用できる拡大教科書です。

UDブラウザとは 【特徴】

1 持ち運びやすさ(可搬性)を追求

- タブレット1枚にすべての教科書が入るので、持ち運びがしやすい。
- iOSが動作する機器であれば、iPadだけでなく、iPhoneやiPod touchでも動作可能。

UDブラウザとは 【特徴】

2 見やすさ(視認性)を追求

- 文字や図等の拡大機能
- 配色変更機能(白黒反転等の配色の変更が可能)
- リフロー表示機能
- 音声読み上げ表示機能
- ルビ表示機能
- 文書スタイル変更機能

教科書と全く同じ紙面のレイアウトの固定モードと フォントや配色等を自由に変更出来るリフローモードを 自由に切り替えて使えるハイブリッド・デジタル教材

固定モード

- 便利な付箋機能もあるよ！
- ページジャンプ機能で指定されたページを開くことが簡単！
- キーボードからの操作も可能！
- ラインマークや書き込みもできるよ！

リフローモード

- フォント、文字サイズ、文字間隔、行間隔等が自由に変更可能！
- 読み上げている場所がわかるようにハイライト表示してくれるよ！

UDブラウザとは 【特徴】

3 使いやすさ(操作性)を追求

- ページジャンプ機能
- 書き込み機能
- キーボード等操作機能
- ブックマーク機能
- 意味調べ・コピー機能
- 転送機能
- 検索機能

UDブラウザとは

【令和4年度研究協力校のアンケート結果】

- 93.5%の生徒が紙の**拡大教科書よりも便利**だと思
うと回答
- 90.7%の生徒が「**持ち運びが楽**であること」、
82.3%の生徒が「必要に応じて**拡大率を変更**でき
ること」を便利な理由として回答
- **学習意欲が向上**した生徒が42.3%、**勉強時間が増**
加した生徒が36.5%、**成績が向上**した生徒が
34.3%で、90.9%の生徒が今後も使い続けたいと
回答

UDブラウザとは

【令和4年度研究協力校のアンケート結果】

- 「教科書目録」に掲載されている教科書であれば
全て無償で提供。令和4年度は希望のあった480種
類の教科書、延べ3,987冊を提供。
- 利用者は年々、増加しており、令和4年度は134校、
310人の弱視生徒が利用。特別支援学校（60校）
だけでなく、通常の高等学校（72校）や登校専門
学校（2校）も利用

UDブラウザとは

【研究について】

文部科学省初等中等教育局教科書課「特別支援学校(視覚障害等)高等部における教科書デジタルデータ活用に関する調査研究」

慶應義塾大学中野泰志研究室「小中学校におけるPDF版拡大図書に関する調査研究」事業

- ・視覚障害等のある児童生徒が教科書デジタルデータ(PDF版拡大図書)を教科用拡大図書として使用可能とするための提供システムの構築や、それに伴う諸課題等について検証すること
- ・PDF版拡大図書を授業や家庭学習においてご活用し、紙の拡大教科書との比較等、運用上の課題や利便性等についてアンケート調査等を行う。

UDブラウザとは

【「PDF版拡大図書」の無償提供の対象】

以下の要件を満たしている児童生徒
当該児童生徒を指導している教員への提供も可能

- ・通常の検定教科書にアクセスすることが困難で、**拡大教科書の利用**が必要な視覚等に障害がある小学生、中学生、高校生で、**教科書目録にある教科書を利用していること**
- ・PDF版拡大図書を授業や家庭学習等で利用したいと**希望**していること
- ・当該児童生徒、保護者、担当教員、学校長が**本研究の趣旨に同意**していること
- ・アンケート調査、ヒアリング等、研究への**協力が可能**であること
- ・後述の「PDF版拡大図書運用上の留意点」を守り、**不正利用をしないこと**
- ・**学校長**等が上述の要件を満たしていることを**認め**、調査研究協力校として登録すること

UDブラウザとは

【「PDF版拡大図書」の無償提供の対象】

PDF版拡大図書は、原則として、**調査研究協力校**としてご登録いただいた学校に提供。

在籍校の学校長が上述の要件を満たしていることを認め、調査研究協力校になることが出来ない場合には、近隣の特別支援学校や特別支援学級・通級指導教室設置校設置校等を介して手続きも可能

UDブラウザとは

【運用上の留意点】

- PDF版拡大図書を利用するためのiPad/iPhone/iPod Touch)と教科書・教材閲覧用アプリ「UDブラウザ」が必要です。
- これらのデバイスとアプリは、学校もしくは当該児童生徒が用意する。
- **Windows OSやAndroid OSには対応しておりません。**

UDブラウザとは 【運用上の留意点】

- 文部科学省等からの受託研究の一貫として行うものであるため、申請された場合には、必ず、研究へのご協力(アンケート調査への協力等)すること
- PDF版拡大図書は、慶應義塾大学のホームページからダウンロード出来る形式で提供される。
- PDF版拡大図書は、本研究の目的以外では利用しないこと。他者にデータを提供する等の不正な利用をしない
- 各自が利用出来るのは、登録申請していただいたPDF版拡大図書のみです。複数の端末(例えば、学校用と家庭用)にインストールすることも可能ですし、年度途中で追加申請をすることも可能です。

UDブラウザとは 【運用上の留意点】

- PDF版拡大図書には、パスワードによる利用制限がかけられています。利用制限を解除するためには、慶應義塾大学に対して利用者登録をしていただく必要があります。
- iPadを紛失する等で、データ流出の危険性が生じた場合には、必ず連絡すること。
- PDF版拡大図書を1冊、作成するためには、日数と費用がかかるため、正確な申請をお願いします。

UDブラウザとは 【運用上の留意点】

- 弱視等の児童生徒がiPadによりPDF版の拡大図書を授業で使用する場合、教科書の使用義務(学校教育法第34条等)を満たすために、**検定教科書等**(紙の拡大教科書等の教科用特定図書含む)の**使用を前提**として活用する必要があります。
- 本教材の対象者は、弱視等で見えにくさがあり、通常の教科書にアクセスすることが困難で拡大教科書を必要とする児童生徒です。**障害者手帳を有している必要はありません**し、視覚特別支援学校や弱視特別支援学級に在籍している必要はありません。なお、盲の児童生徒に適用していただいても構いません。

UDブラウザとは 【運用上の留意点】

- 当該児童生徒を指導する目的(教材研究や授業中の指示等)で、**教員が利用することも可能**です。その場合、あくまで**児童生徒が利用していることが前提**になっているので、必ず、利用登録をお願いいたします。なお、当該児童生徒が利用していない教科書を申請することは出来ませんので、ご注意ください。

UDブラウザとは

UDブラウザを使った 授業のイメージ ～世界史編～

(香川視覚支援学校HPより)



ICT化による、デジタル教材について

学習者用デジタル
教科書？

PDF版拡大図書？

UDブラウザ？

なにが違う？



学習者用デジタル教科書とは？

- 一言でいうと...
- 紙の教科書と同じ内容をデジタルで学べる“**正式な教科書**”です。
- 動画、音声、検索、書き込みなどができ、ICTを活用した学びに対応しています。（学習者用デジタル教材）

学習者用デジタル教科書とは？

文科省が定義している内容（ざっくり）

- 紙の教科書と「同一の内容」
- 小・中学校のすべての教科（道徳など一部を除く）で導入可能
- 授業時間の2分の1まで使用可能（令和7年度から完全解禁の方向）

学習者用デジタル教科書とは？

今後の動き

- **2024年度（令和6年）**：授業時間の最大2分の1まで使用可（健康上の理由）
- **2025年度以降**：全面的に紙と同じ扱いになる方向で検討中
- **2028年度**には**すべての教員が実践的に活用**できることを目指す

中央教育審議会は新しい学習指導要領が実施される2030年度から新しい教科書の運用を始めたいと考えている。

UDブラウザ

UDブラウザ 教科書や教材を閲覧するためのiOSアプリ

PDF版拡大図書

拡大教科書と同等の役割を果たすように、文部科学省からの受託研究によって開発されたデジタル教材のファイル形式

※UDブラウザで表示されるデータ形式

以下の3種類のファイルをzip化したファイル

- ・紙の教科書の紙面と全く同じレイアウトを実現するための「PDFファイル」
- ・フォントや文字サイズ等を変更可能で、音声読み上げにも対応したリフローレイアウトを実現するための「HTMLファイル」
- ・書籍名等を記録した「JSONファイル」

「UDブラウザのPDF版拡大教科書」と「学習者用デジタル教科書」の違い

比較項目	UDブラウザのPDF版拡大教科書	学習者用デジタル教科書
目的	読みに困難がある児童の「合理的配慮」	すべての児童のICT活用による学習支援
対象	主に弱視、ディスレクシアなど視覚や読みの困難のある児童	小・中学校のすべての児童生徒
内容	紙の教科書のPDF版を視覚支援しやすく加工	紙の教科書と同じ内容＋追加機能
形式	PDF + UDブラウザで拡大・色調変更等	専用ビューアで動くインタラクティブな教科書

「UDブラウザのPDF版拡大教科書」と「学習者用デジタル教科書」の違い

リフロー	あり（行ごとの表示、自動スクロール等）	基本なし（文章構造は固定）
読み上げ	あり（UDブラウザ機能）	あり（教科書ごとに実装）
書き込み	なし	あり（マーカー、メモなど）
位置づけ	文科省による「拡大教科書」の一種（合理的配慮）	学習指導要領に基づく正式な「教科書」
提供	必要な児童にのみ配布・申請が必要	クラス単位で一括導入が一般的
ライセンス・契約	個別申請、無料（場合により）	ライセンス契約が必要（自治体単位など）

「UDブラウザのPDF版拡大教科書」と「学習者用デジタル教科書」の違い

UDブラウザのPDF版拡大教科書

- 「読むのが難しい」子のために、**見やすくすることに特化**。
- 視覚障害だけでなく、読み書き困難の支援（LDなど）にも。
- PDFベースなので、紙の教科書に忠実な構成。
- **主に個別対応**。教育委員会を通して申請し、限定的に配布。

学習者用デジタル教科書

- 「学習を深める」「ICTで学びを広げる」ことが目的。
- すべての子が対象（インクルーシブ教育の一環）。
- 動画・アニメーション・マーカー・検索など、多機能。
- 紙の教科書と同等の“教科書”として法的にも認定済。

UDブラウザ 最新情報

教科書・教材閲覧アプリ「UDブラウザ」のホームページ

<https://psylab.hc.keio.ac.jp/app/UDB/>



中野 泰志

(慶應義塾大学経済学部)

更新日:2025年2月14日

UDブラウザの基礎

UDブラウザの基本操作

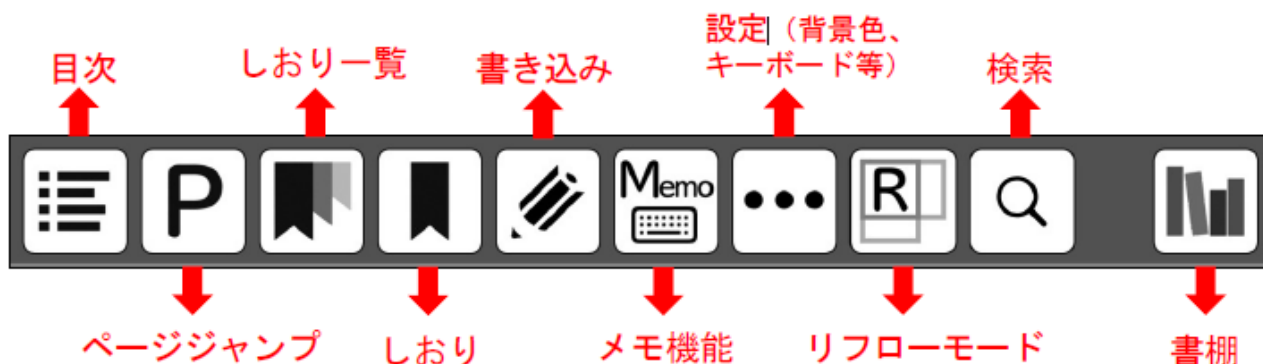
<https://psylab.hc.keio.ac.jp/app/UDB/manual/manual.pdf>

バージョンアップで変化するのでリンク

<PDFモードで閲覧する>

4.2 PDFモードのアイコンと名称

書棚から閲覧したい書籍をタップすると、ページ上部にメニューが表示されます。
メニューにある機能は、「目次」「ページジャンプ」「しおり一覧」「しおり」「書き込み」「メモ機能」「設定」「リフローモード」「検索」「書棚」の10種類です（図56）。



UDブラウザの応用

自作教材やデータの受け渡し

UDブラウザへファイルを送信する方法

方法1 【OneDrive（Googleドライブ）から】

1. OneDrive（Googleドライブ）にファイルを入れる
2. iPadでOneDrive（Googleドライブ）を開く
3. ファイルの右端、3点メニューを選択
4. 「別のアプリで開く」を選ぶ
5. 「UDブラウザ」を選ぶ



9:42 4月7日(月) UDブラウザ研修 宮城県教育委員会

ファイル

名前 ↑	日付	サイズ	共有	
20250407_002322356_iOS	20 分前	4.3 MB		
4年算数問題	4月4日	213 KB		...
4年算数答え	4月4日	249 KB		
manual	4月4日	41.1 MB		...
入門研修 UDブラウザについて	4月4日	617 KB		...
入門研修 UDブラウザについて	4月4日	1.3 MB		...
朝の打合せ掲示板	4月4日	20 KB		...

ホーム ファイル カメラ 共有アイテム ライブラリ

9:43 4月7日(月) UDブラウザ研修 宮城県教育委員会

ファイル

名前 ↑	日付	
20250407_002322356_iOS	20 分前	
4年算数問題	4月4日	
4年算数答え	4月4日	
manual	4月4日	
入門研修 UDブラウザについて	4月4日	
入門研修 UDブラウザについて	4月4日	
朝の打合せ掲示板	4月4日	

4年算数答え.pdf
4月4日・249 KB

共有

削除

オフラインで利用可能にします

移動

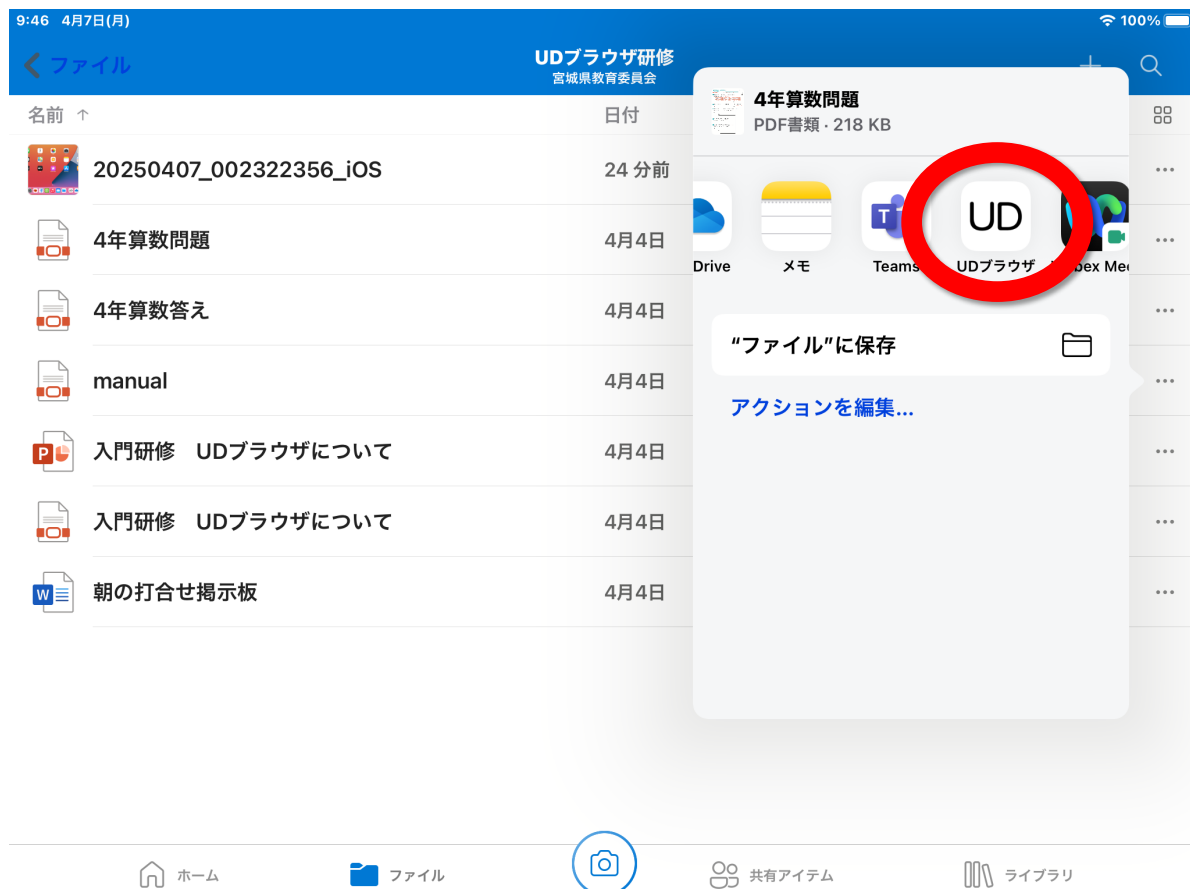
詳細

ファイルの名前の変更

別のアプリで開く

新しいウィンドウで開く

ホーム ファイル カメラ 共有アイテム ライブラリ

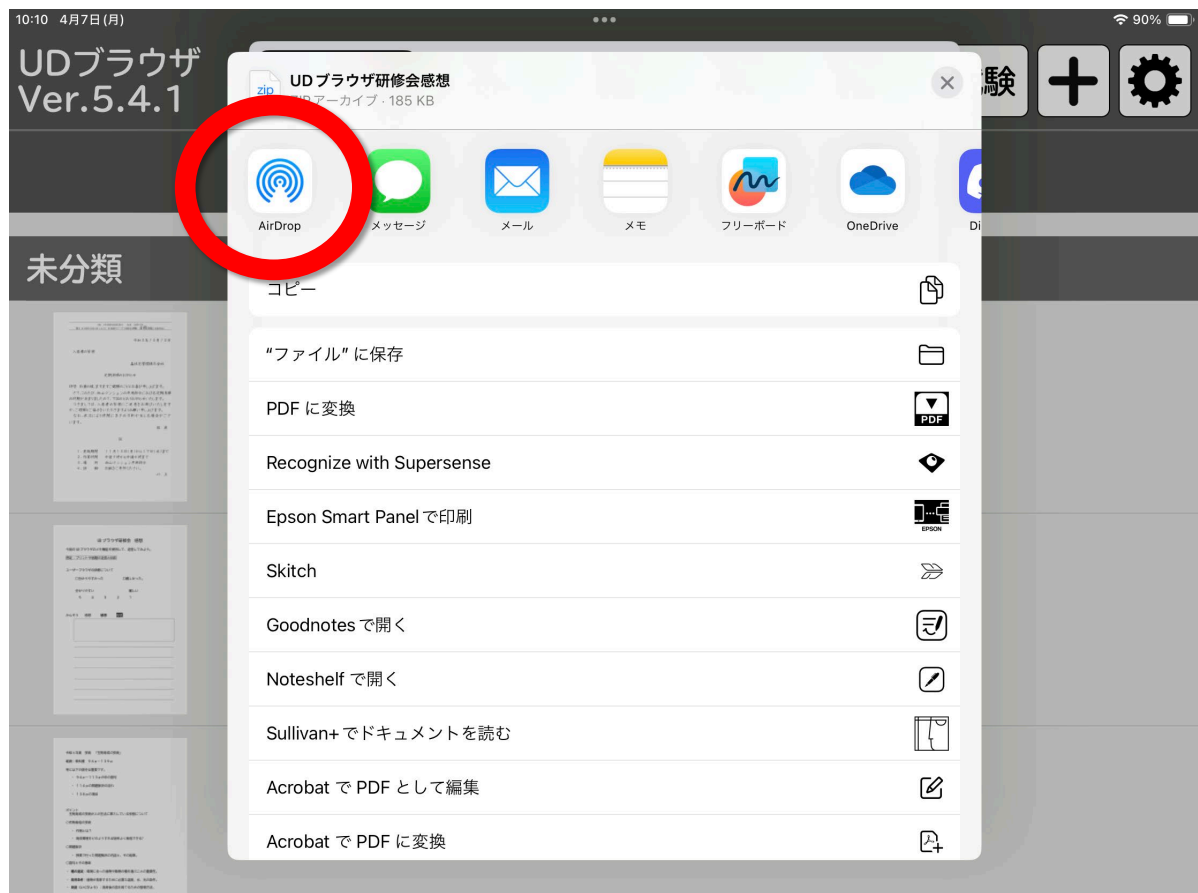


UDブラウザへファイルを送信する方法 方法2 【Air Dropを利用】

1. UDブラウザの「書棚」から転送するファイルを左にフリックする
2. 「転送」を選択する
3. 転送可能なファイルを選択する
4. Air Dropで受け取る場合は、「UDブラウザ」を選択する

※バージョンによっては一度「ファイル」に保存してUDブラウザ側から読み取った方が良い場合がある。

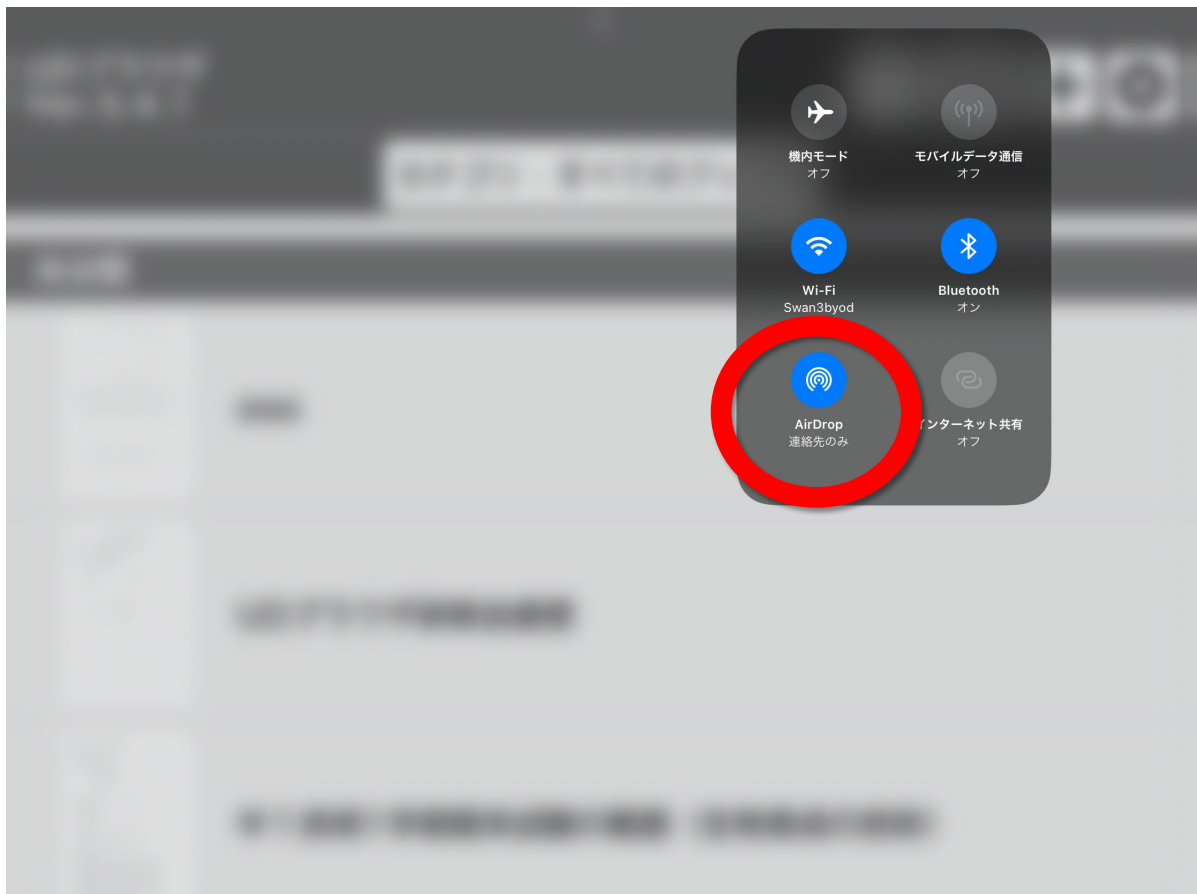
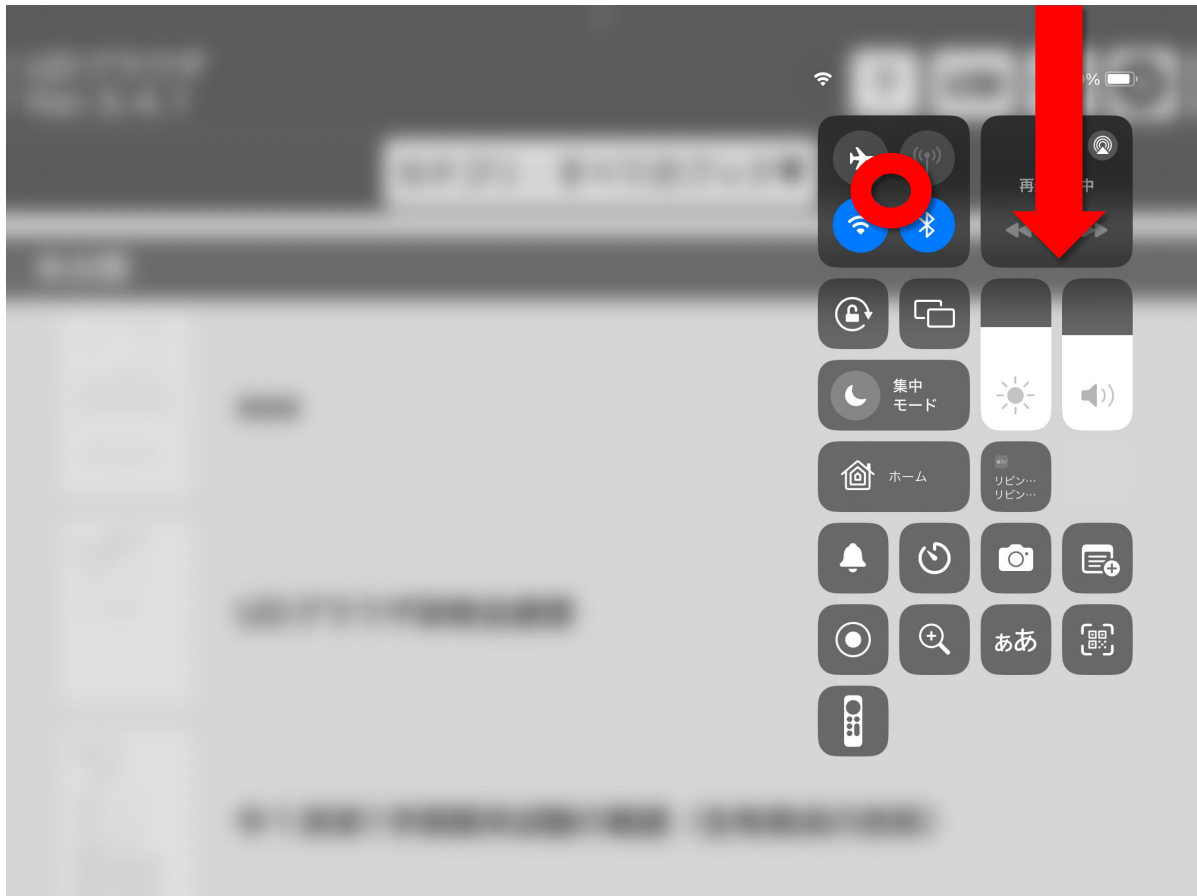


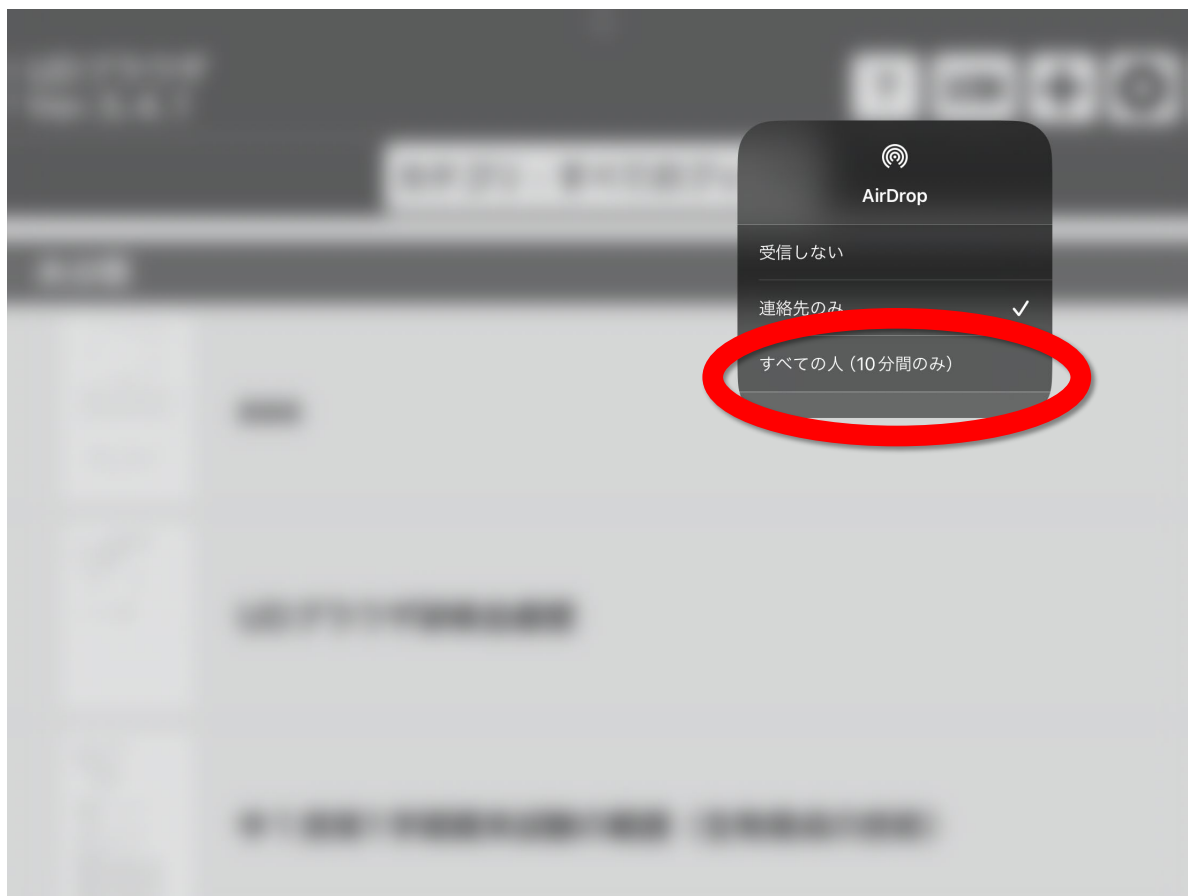




UDブラウザへファイルを送信する方法 方法2 補足 【Air Dropの設定】

1. 画面の右上から下にフリック
2. メニュー左上にある「通信関係のアイコン」の中央を長押し
3. Airdropを長押し
4. すべての人（10分間のみ）を選択



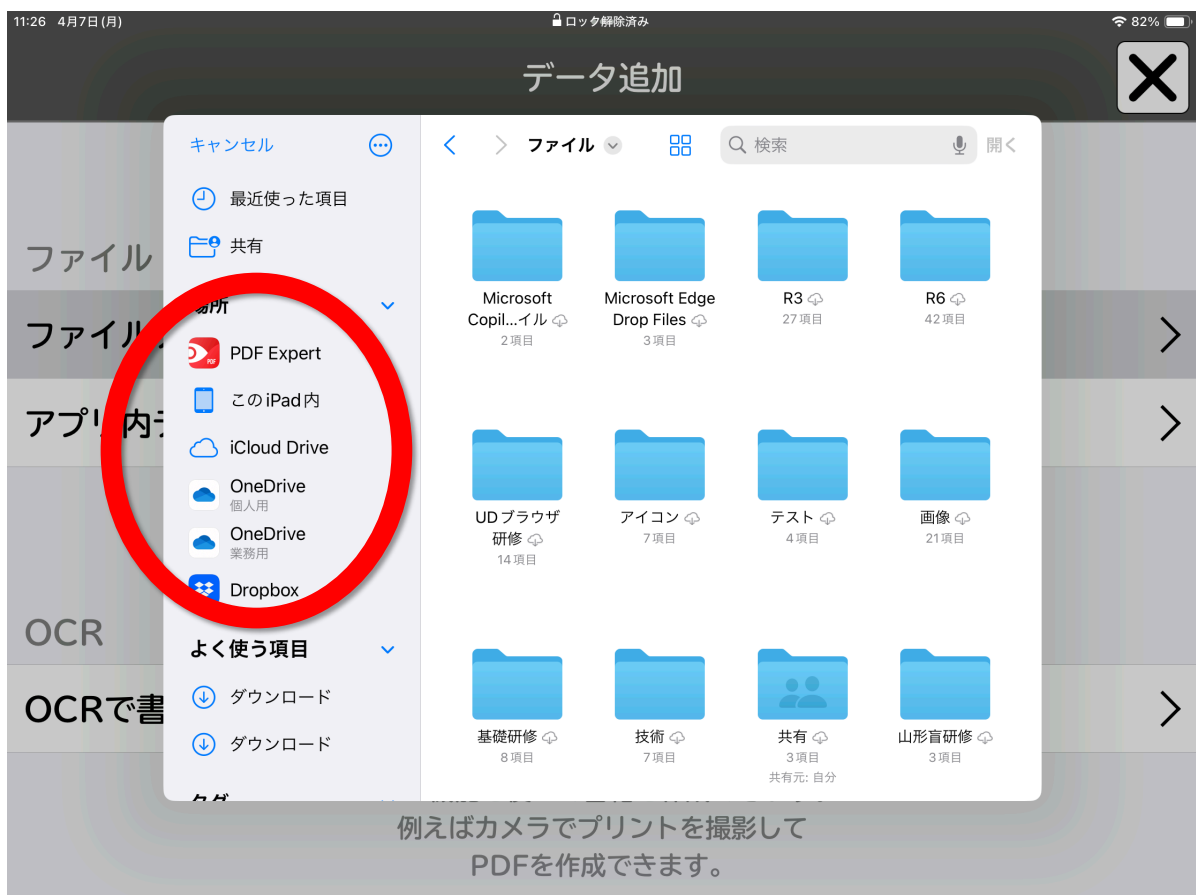


UDブラウザへファイルを送信する方法

方法3 【UDブラウザの書庫から読み込む】

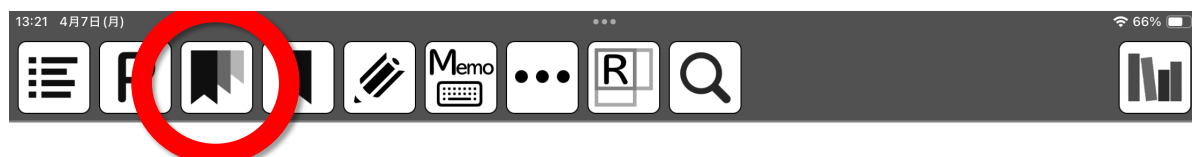
1. UDブラウザの右上の「+」をタップ
2. 「データ追加」の画面から「ファイルアプリから読み込み」を選択
3. 「このiPad内」「OneDrive」「Googleドライブ」、
など設定したドライブを選択
4. ファイルを選択





手書きのファイルを送信する方法

1. メニューの「しおり一覧」をタップ
2. 「書き込み」を選択
3. 場面下の「データを選択して書き出し」を選択
4. ファイルを選択
5. PDFかJPEGのどちらかを選択



繰り上がりの無い足し算(0なし)

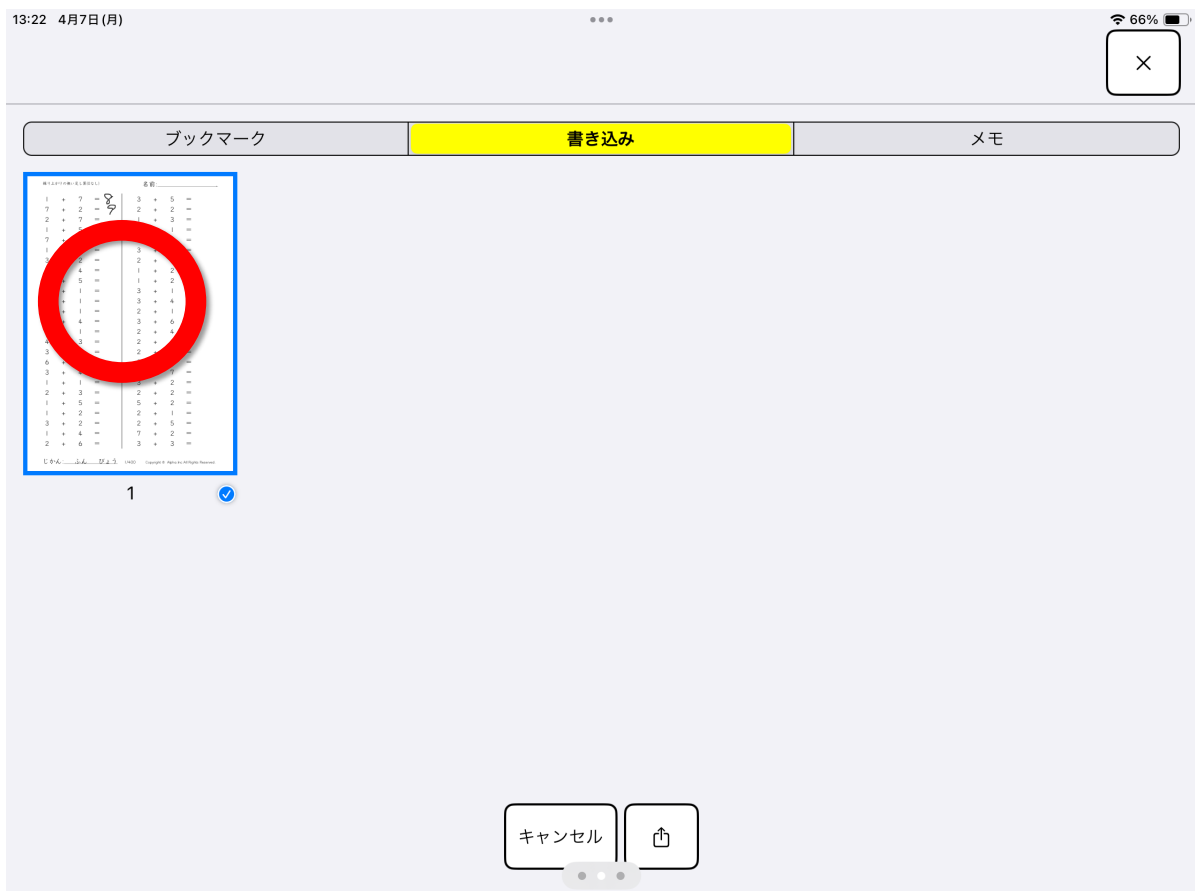
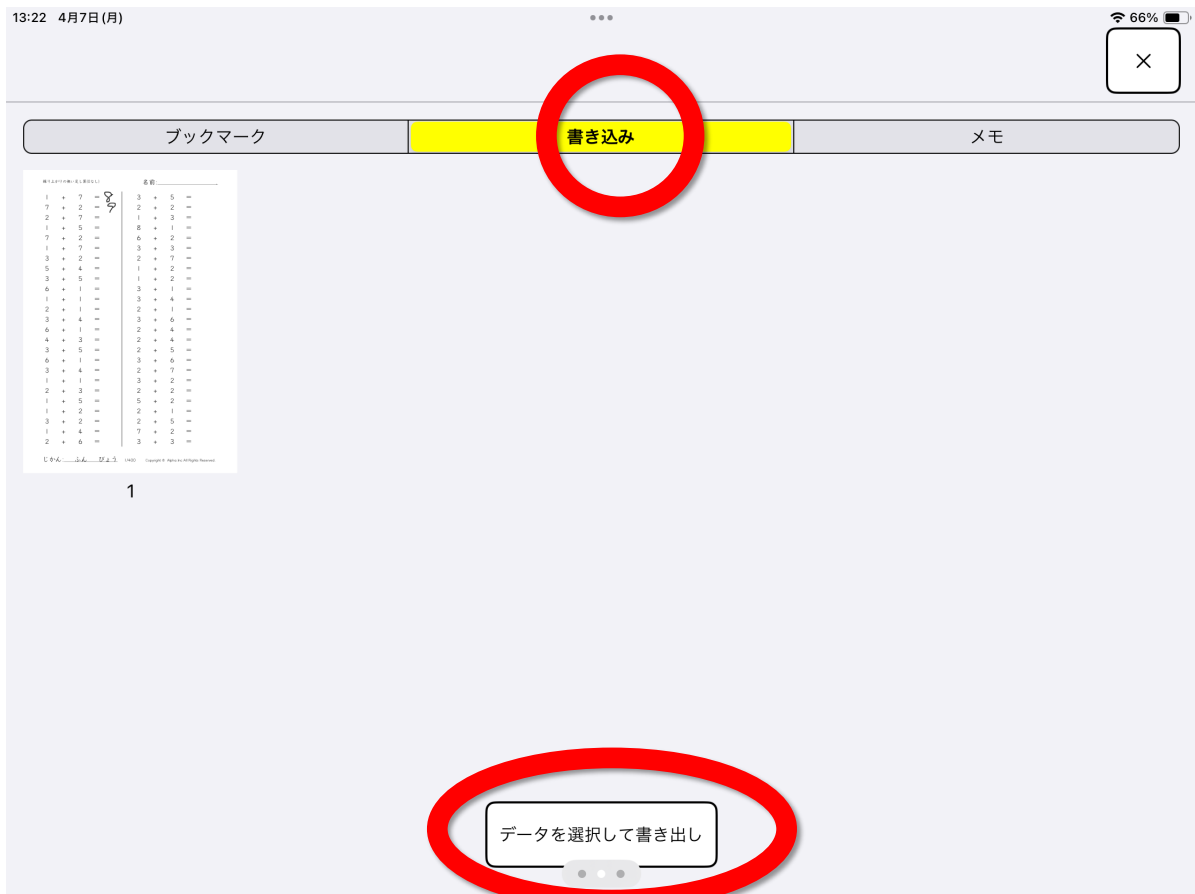
名前: _____

1	+	7	=
7	+	2	=
2	+	7	=
1	+	5	=
7	+	2	=
1	+	7	=
3	+	2	=

8
7

3	+	5	=
2	+	2	=
1	+	3	=
8	+	1	=
6	+	2	=
3	+	3	=
2	+	7	=







ブックマーク

書き込み

メモ

計算問題集 (1/100)

名前	問題	答え
1	7 + 2 =	9
2	7 + 2 =	9
3	7 + 2 =	9
4	7 + 2 =	9
5	7 + 2 =	9
6	7 + 2 =	9
7	7 + 2 =	9
8	7 + 2 =	9
9	7 + 2 =	9
10	7 + 2 =	9
11	7 + 2 =	9
12	7 + 2 =	9
13	7 + 2 =	9
14	7 + 2 =	9
15	7 + 2 =	9
16	7 + 2 =	9
17	7 + 2 =	9
18	7 + 2 =	9
19	7 + 2 =	9
20	7 + 2 =	9
21	7 + 2 =	9
22	7 + 2 =	9
23	7 + 2 =	9
24	7 + 2 =	9
25	7 + 2 =	9
26	7 + 2 =	9
27	7 + 2 =	9
28	7 + 2 =	9
29	7 + 2 =	9
30	7 + 2 =	9
31	7 + 2 =	9
32	7 + 2 =	9
33	7 + 2 =	9
34	7 + 2 =	9
35	7 + 2 =	9
36	7 + 2 =	9
37	7 + 2 =	9
38	7 + 2 =	9
39	7 + 2 =	9
40	7 + 2 =	9
41	7 + 2 =	9
42	7 + 2 =	9
43	7 + 2 =	9
44	7 + 2 =	9
45	7 + 2 =	9
46	7 + 2 =	9
47	7 + 2 =	9
48	7 + 2 =	9
49	7 + 2 =	9
50	7 + 2 =	9
51	7 + 2 =	9
52	7 + 2 =	9
53	7 + 2 =	9
54	7 + 2 =	9
55	7 + 2 =	9
56	7 + 2 =	9
57	7 + 2 =	9
58	7 + 2 =	9
59	7 + 2 =	9
60	7 + 2 =	9
61	7 + 2 =	9
62	7 + 2 =	9
63	7 + 2 =	9
64	7 + 2 =	9
65	7 + 2 =	9
66	7 + 2 =	9
67	7 + 2 =	9
68	7 + 2 =	9
69	7 + 2 =	9
70	7 + 2 =	9
71	7 + 2 =	9
72	7 + 2 =	9
73	7 + 2 =	9
74	7 + 2 =	9
75	7 + 2 =	9
76	7 + 2 =	9
77	7 + 2 =	9
78	7 + 2 =	9
79	7 + 2 =	9
80	7 + 2 =	9
81	7 + 2 =	9
82	7 + 2 =	9
83	7 + 2 =	9
84	7 + 2 =	9
85	7 + 2 =	9
86	7 + 2 =	9
87	7 + 2 =	9
88	7 + 2 =	9
89	7 + 2 =	9
90	7 + 2 =	9
91	7 + 2 =	9
92	7 + 2 =	9
93	7 + 2 =	9
94	7 + 2 =	9
95	7 + 2 =	9
96	7 + 2 =	9
97	7 + 2 =	9
98	7 + 2 =	9
99	7 + 2 =	9
100	7 + 2 =	9

計算問題集 (1/100) Copyright © 2023 by All Rights Reserved.

1



ファイル形式

PDF

キャンセル



ブックマーク

書き込み

メモ

計算問題集 (1/100)

名前	問題	答え
1	7 + 2 =	9
2	7 + 2 =	9
3	7 + 2 =	9
4	7 + 2 =	9
5	7 + 2 =	9
6	7 + 2 =	9
7	7 + 2 =	9
8	7 + 2 =	9
9	7 + 2 =	9
10	7 + 2 =	9
11	7 + 2 =	9
12	7 + 2 =	9
13	7 + 2 =	9
14	7 + 2 =	9
15	7 + 2 =	9
16	7 + 2 =	9
17	7 + 2 =	9
18	7 + 2 =	9
19	7 + 2 =	9
20	7 + 2 =	9
21	7 + 2 =	9
22	7 + 2 =	9
23	7 + 2 =	9
24	7 + 2 =	9
25	7 + 2 =	9
26	7 + 2 =	9
27	7 + 2 =	9
28	7 + 2 =	9
29	7 + 2 =	9
30	7 + 2 =	9
31	7 + 2 =	9
32	7 + 2 =	9
33	7 + 2 =	9
34	7 + 2 =	9
35	7 + 2 =	9
36	7 + 2 =	9
37	7 + 2 =	9
38	7 + 2 =	9
39	7 + 2 =	9
40	7 + 2 =	9
41	7 + 2 =	9
42	7 + 2 =	9
43	7 + 2 =	9
44	7 + 2 =	9
45	7 + 2 =	9
46	7 + 2 =	9
47	7 + 2 =	9
48	7 + 2 =	9
49	7 + 2 =	9
50	7 + 2 =	9
51	7 + 2 =	9
52	7 + 2 =	9
53	7 + 2 =	9
54	7 + 2 =	9
55	7 + 2 =	9
56	7 + 2 =	9
57	7 + 2 =	9
58	7 + 2 =	9
59	7 + 2 =	9
60	7 + 2 =	9
61	7 + 2 =	9
62	7 + 2 =	9
63	7 + 2 =	9
64	7 + 2 =	9
65	7 + 2 =	9
66	7 + 2 =	9
67	7 + 2 =	9
68	7 + 2 =	9
69	7 + 2 =	9
70	7 + 2 =	9
71	7 + 2 =	9
72	7 + 2 =	9
73	7 + 2 =	9
74	7 + 2 =	9
75	7 + 2 =	9
76	7 + 2 =	9
77	7 + 2 =	9
78	7 + 2 =	9
79	7 + 2 =	9
80	7 + 2 =	9
81	7 + 2 =	9
82	7 + 2 =	9
83	7 + 2 =	9
84	7 + 2 =	9
85	7 + 2 =	9
86	7 + 2 =	9
87	7 + 2 =	9
88	7 + 2 =	9
89	7 + 2 =	9
90	7 + 2 =	9
91	7 + 2 =	9
92	7 + 2 =	9
93	7 + 2 =	9
94	7 + 2 =	9
95	7 + 2 =	9
96	7 + 2 =	9
97	7 + 2 =	9
98	7 + 2 =	9
99	7 + 2 =	9
100	7 + 2 =	9

計算問題集 (1/100) Copyright © 2023 by All Rights Reserved.

1

算数計算問題
PDF書類・256 KB

AirDrop



メッセージ



メール



メモ



プリント

コピー



マークアップ



プリント



"ファイル" に保存

Microsoft 365 Copilot にインポート
する

Word に変換



キャンセル



演習

1. ファイルをUDブラウザに読み込ませてみましょう
2. 手書きしたファイルを送信してみましょう

○視覚障害だけではない重複の生徒を受け持つグループ

進行:視覚支援学校:中澤

参加校 岩沼南小・玉川小・鹿野小

【見え方の理解と指導の工夫について】

- 見え方については、視野検査を行うことができる。視力が良好であっても、視野が狭いと見え方は大きく異なるため、その点を理解できるようにすることが大切である。
- 知的障害のある児童生徒の場合、視野検査自体が難しいこともある。そのため、さまざまな概念を用いながら実態把握を行うことも効果的である。
- 視機能には近見と遠見がある。検査が難しい場合は、教員が絵や文字の大きさを変えながら、見え方の実態を把握していく。
- 個数の概念が未形成の場合でも、数唱(数を数えること)はできることがある。そのため、実態把握を重点的に行う必要がある。授業では、段階的に少しずつ進めていくことが重要である。考え方を柔軟に切り替え、さまざまな概念を取り入れながら授業を展開する。本人の好きな物や使いやすい道具を活用し、根気強く取り組む。
- 手帳がない場合、進学や進級に際して配慮が受けにくいこともあるため、中学校進学前に検査を受けるかどうかを判断しておくといよい。
- 視覚支援学校の支援センターは、授業に関する相談だけでなく、進路相談にも対応している。

○小学校グループ

進行 視覚支援学校:木村

参加 中野栄小、亦楽小、吉岡小、若林小、七郷小、石越小

【各校の取り組み】

- 現在2年生。1年生のときから拡大読書器を使用しているため、操作法などを授業中あらためて指導することはほぼなく、自立活動などの時間などを使って使い方などを学ぶ。交流では、「〇〇を見るよ」などの指示を出したり、板書等ついていけないときの補助を行っている。
- 拡大読書器使用。UD ブラウザを使用している。
授業でもおおむねついていけているが、交流等では集中力が切れてきたなと感じたときに支援する。今年度から理科の授業が始まり、説明書など細かい文字のときに支援する。
- 1年生。拡大読書器を使う練習をしているところ。交流など見る場所などを伝える等の支援をとなりで行う。

今後を見据えて、中学での授業体制なども考慮しながら支援を行ったり考えたりしていく必要がある。

【自立活動の内容について】

現在、4年生の担任をしている。本人は補助具の扱いはほぼ覚えているが、面倒くさがって板書を写さないことが多く、単眼鏡も使いたがらないことがある。皆さんはどのような自立活動を行っているでしょうか。

- 現在指導している児童は1年生で、3月生まれということもあり、まだ少し幼さがある。落ち着きがないこともあるため、自立活動では体幹トレーニングも取り入れている。視覚的な情

報が得にくいいため、触って学ぶ活動を積極的に取り入れている。例えば、風船の中に鈴を入れるなど、体育的な活動も行っている。

- ・ 本校では自立活動の時間は週2時間。点字の導入については、厚紙に6点のシールを貼った実物を用いながら説明している。

【自立活動の時間】

お子さんの得意な部分を生かしながら、弱い部分を補っていければよいと考えています。皆さんはどのくらい自立活動の時間を確保していますか。

- ・ 週1時間。算数の遅れを補う時間にしている。
- ・ 週2時間。取り出しで授業の遅れを補うことが多い。
- ・ 週4時間。交流学級での遅れを補ったり、漢字のなぞりや単眼鏡の指導を丁寧に行ったりしている。
- ・ 週1時間。交流学級での授業の補充を行っている。今後は単眼鏡の指導や練習も取り入れたい。
- ・ 週1時間。コミュニケーションに課題があるため、すごろくなどゲーム感覚で取り組める活動を行っている。

【視覚補助具について】

視覚補助具は「使うこと」自体が目的ではなく、補助具を使うことで「見やすい」「便利だった」「使ってよかった」と実感できる経験を積むことが大切。

○中学校グループ

進行 視覚支援学校：荒

参加 南小泉中、利府中、河南東中、船岡中

【普通高校を希望する生徒について】

生徒は普通高校を希望しているが、どの程度の支援を受けられるのか。現在は校内にある拡大読書器を持って教室間を移動しているが、高校ではどうなるのか。

- ・ 次のことを確認
 - ①どの高校を受験したいのかを明確にする。
 - ②教育相談(受験前・受験後)を行いながら進めていく。
- ・ 受験時は、拡大読書器の持ち込みが可能(事前に配慮申請を提出する)。過去には、拡大読書器とiPadを併用して受験した例もある。入試では別室受験や時間延長の配慮を受けたケースもある。
- ・ 普段使用している補助具も、事前申請をすれば持ち込み可能。
- ・ なお、高校入学後は、拡大読書器は基本的に本人が準備することになる。

【体育(球技)について】

担任と一緒に活動しているが、不意にボールが飛んでくることがあり、対応が難しい。

- ・ 球技は難しい場面が多い。飛んでくるボールへの即時対応は困難な場合もあるため、「できることを安全に行う」という視点で活動内容を工夫することが大切。

【ICTについて】

仙台市ではiPadが導入されていないため、UD(ユニバーサルデザイン)に代わる方法の検討が必要。

宮城県特別支援教育研究会視覚障害教育専門部 第 2 回研修会 事後アンケート

2025/07/30

学校名	UD ブラウザ講習会の理解度とコメント		意見交換会の満足度とコメント		その他
岩沼市立岩沼南小学校	分からなかった	子供目線で使い方の事前指導をしっかりとすると見えそうだった	満足		ぜひ中澤先生に今の T さんの頑張りを 見てほしいと思いました! 情報交換の時間にご意見頂き本当に ありがとうございました
中野栄小学校	分からなかった	便利で良いと思いました。	満足	いろいろなお話が聞けたので、今後参 考にしていきたいです。	午前中の研修も参加させていただき ためになりました。ありがとうございました。
仙台市立南小泉中学校	わかった	補助教材本を UD ブラウザで取り込ん で活用することができそうなのが分 かり、やってみようと思いました。自分 で触ってみて初めて出来ることの凄さ や疑問点が見えてくると思いました。 今日はありがとうございました。	満足	進路や交流保健体育の参加の仕方がこ れでいいのかなと漠然と取り組んでい たことに助言をいただき、心強く、また 参考になりました。ありがとうございました。	仙台市では 8 月下旬には学校にある iPad を引き上げるそうです。残念で す。
柴田町立船岡中学校	よく分かった	いつもは、生徒が使っているものなの で、どんなものなのか、理解したいのと 指導する上で何ができるのか可能性を 知りたい。	満足	入試の話題になり詳しく聞けました。	今日は、色々ありがとうございました。
利府中学校	わかった	説明書を読むよりもわかりやすい	満足	学校種毎で良かった	
仙台市立鹿野小学校	わかった	とても便利なものであるとわかりまし た。実際に操作しながら教えていただ けたのが良かったです。iPad を貸して いただきありがとうございました。	非常に満足	グループ内で同じような状況や悩みが あることを共有し、情報を交換できた のが良かったです。事前の質問にも、 中澤先生からアドバイスをいただき、 最後には手作りの教材等も見せていた だきました。ありがとうございました。	

令和7年度 視覚教育専門部

第3回 研修会資料

学習プリント作成するときの配慮

【プリント作成時のポイント数、フォントその他】

I 視覚障害をもつ生徒の見えにくさの実態

一口で視覚障害といっても、視力、視野、眼疾、羞明、白濁など幼児児童生徒のみえにくさは100人いれば100通り、十人十色である。そのため、視覚障害にとってもっともストレスを感じることは遠くをみること。差し詰め、学校生活を送る上では黒板の文字をみることもっともストレスである（経験上）。そのため、板書をせずに、学習プリントを使用することで、自ら板書（らしきもの）を作りあげて、手元で完結させる形で授業を進めている。そこで、今回は、これまで、おもに中学部と高等部普通科の生徒の授業で作成した学習プリントづくりの工夫と労力を発表するものである。

II 授業実践

学習プリントを作成するにあたり、在籍者には墨字使用と点字使用の生徒がいる。これらの生徒が同じ教室で同じ時間で学習するわけなので、当然同じ内容で作成する。

墨字の場合は、年度始めに、見やすいポイント数、フォントを確認する作業を行う。私の場合は様々な種類のポイント数、フォントの文章を準備し生徒に選ばせ、それで学習プリントだけでなく試験問題、お知らせの便りなども作成する。進行性の眼疾の生徒もいるので、長期休業が空けた後などにも適宜確認を行っている。作成するときのポイントは、見やすい文字というだけでなく、タイトルのつけ方、どこで改行、改ページをするか、空欄のつくり方、矢印の矢頭の形、そして、作成するプリントには単元ごとに通し番号をつけるなどである。また、拡大読書器を使用する生徒については、使用する場合と使用しない場合の両方で見やすい文字を確認する。拡大読書器を使用すると、画面に入る文字数が限られてしまうため、あえて、小さい文字で作成する。特に、視野の狭い生徒には小さい文字の方が有効な場合が多い。

また、地図やグラフなどの資料を作成し提示する場合の配慮は学習プリントの文字の選び方は共通するが、加えて、最大でもB4版までの大きさにすること。（先輩の先生の受け売りで科学的根拠はないが）理由は、視野の狭い生徒をはじめ、見えにくい場合は、広い範囲から必要事項を探し出すのが難しいからである（個人差あり）。そして、拡大読書器を使用する生徒には、30%に縮小して提示する。拡大読書器の画面で、提示した資料の全体像が確認できるようにするためである。

III 成果

成果というのは、よくわからない。ただ、授業で学習プリントを読ませると、どの生徒もそれなりに読んでいる。強いてあげるとすれば、弱視で墨字使用の先生から「プリント読みやすいです」と直接言われたのが1回。またある先生から「生徒が荒先生のプリントは読みやすいと言っていました」と言われたことが1回あるくらいである。

IV 課題と改善策

学習プリントを作成するにあたり、IT化によるペーパーレスの時代に紙を大量に使うこと。そのために資料の管理が難しいこと。また、今後、墨字使用から点字使用に移行する生徒がいた場合の「墨字を見るのは難しい、しかし点字の読みもまだ不十分」という場合にどのように対応するかが今後の課題であり改善点である。やはり、解決にはIT機器の利用ということになってくるのだと思っているが、それは次の世代に任せたいと思う。

宮城県特別支援教育研究会
視覚障害教育専門部
第3回研修会

宮城県立視覚支援学校 教諭 荒 政浩

学習プリントを作成するときの配慮

1 はじめに（その1）

- ・配慮のために考慮に入れる事項

（1）視力 → 人それぞれ。十人十色。

（2）視野 → 人それぞれ。十人十色。

（3）その他 → 羞明（しゅうめい）、眼振など

私の授業の進め方

- 授業では「板書」はしない
 - 授業において生徒がいちばんストレスを感じるのは「見る」こと（経験上）。特に「黒板を見る」こと。
 - 学習プリントを作成し、空欄をつくり、生徒にプリントを声に出して読ませながら適宜解説を加える。
空欄には教科書から探させ、記入させる。

○この形式で授業を進めることのメリット

- 自ら声に出して読むことで、流れをつかめる。
- 自ら文字で書く作業が入る。
- 作業を行いながら、一般的な授業でいう「ノート」が完成し、すべて手元で見ることが可能。

○この形式で行うデメリット

- プrintの枚数が多くなるので、
プリントの整理をしっかりさせないとあとがたいへん。

(1) 文字資料

- ・見やすいフォント、ポイント数の確認
*MNリードなど、適するポイント数を確認する
科学的な方法がありますが・・・。

ー 資料1 ー

- ・3種類のフォントの提示：明朝体、ゴシック体、丸ゴシック
- ・ポイント数の提示：14～36ポイントくらいまで
- ・文字の太さ：普通と太字
→ 生徒が見やすいとした文字で、すべてのプリント、テストを、
場合によっては各種たよりなども作成する。

明朝（細） 16 p

ドラえもんの生年月日は2112年9月3日。

86年後に誕生する予定です。

また、ドラえもんの身長は1 m。頭の周りも1 m。
さらに、ドラえもんは歩くときには1 cm浮いているため、
土足で歩いているようですが、足の裏は汚れず、
のび太くんの家にもそのまま上がることができるのです。

明朝（細） 18 p

ドラえもんの生年月日は2112年9月3日。

86年後に誕生する予定です。

また、ドラえもんの身長は1 m。頭の周りも1 m。
さらに、ドラえもんは歩くときには1 cm
浮いているため、土足で歩いているようですが、
足の裏は汚れず、のび太くんの家にもそのまま
上がることができるのです。

明朝（細） 20 p

ドラえもんの生年月日は2112年9月3日。

ー プrintの作成 : 資料2 ー

- Printには通し番号をつける
*例) Print地理21など
- 生徒が見やすい文字で作成する。
*見え方が変化する生徒もいるので、
長期休業明けには再度確認する。
*生徒には、見えにくいときなどには、
いつでも変更可能とあらかじめ伝える。

Print歴史12
4 貴族社会の発展

12 木簡と計帳は語る
～ 奈良の都と律令制下の人々の暮らし ～

(教科書p44～p45)

◎平城京と国土の支配

○701年に「大宝律令」がつくられ、
めでたく「律令国家」になると！


①()年
奈良(今の奈良県奈良市)に新しい都をつくった

= ② 京

*東西6km・南北5km

○奈良に都があった時代の約80年間を

③ 時代 とよぶ！

- 見えにくい生徒が困るのは必要な単語が
2行に分かれてしまうこと
→ 文章が行末まで行かなくても、
切れのよいところで行替えする
- 記入する語句が教科書で太字で記載されている場合は
で、通常の文字(細字)であれば
()にして区別し、空欄には通し番号をつける

- 「→ (やじるし)」がフォントによっては
矢頭の部分が小さく
見づらい生徒もいるので、矢印のフォントは、矢頭が大きい
「ポップ体 (→)」に統一している。
- 単元が替わった場合は、「改ページ」する。
- クラスの中で弱視の生徒が、同じフォント、ポイント数と
なることはほとんどない
→ 必要な種類すべて作成する。

○拡大読書器を利用する生徒の場合：資料3（映像）

＊拡大読書器では「面」ではなく「点」で読む。

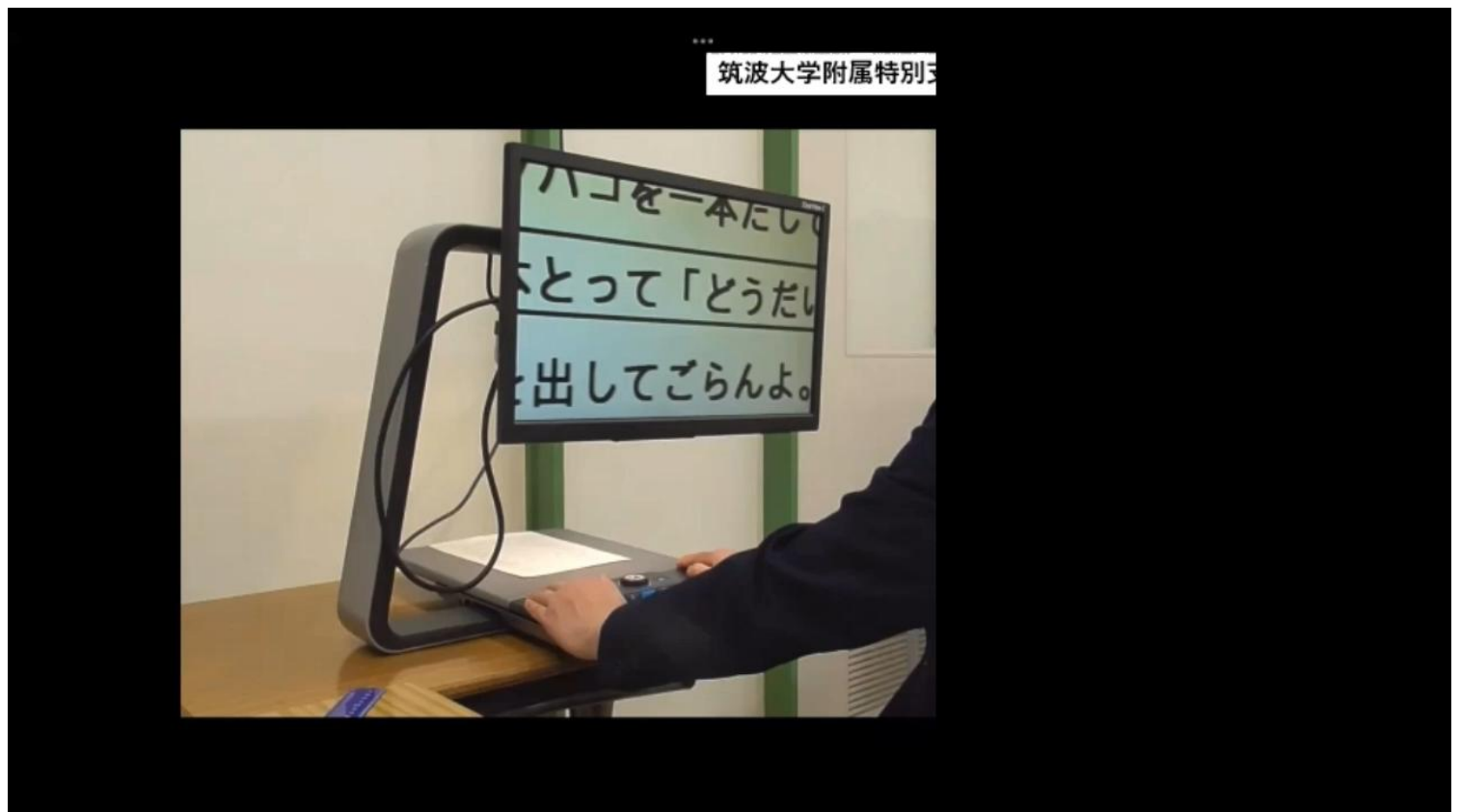
・26ポイントなどの

大きいポイント数だと画面に入る文字数が最初から少なくなってしまうので、10.5ポイントなどの小さい文字で作成する場合もある

＊すべて生徒にあわせる。

＊小さいポイント数だと画面でみる文字の大きさを拡大読書器の倍率の設定で見やすいものに調整できる。

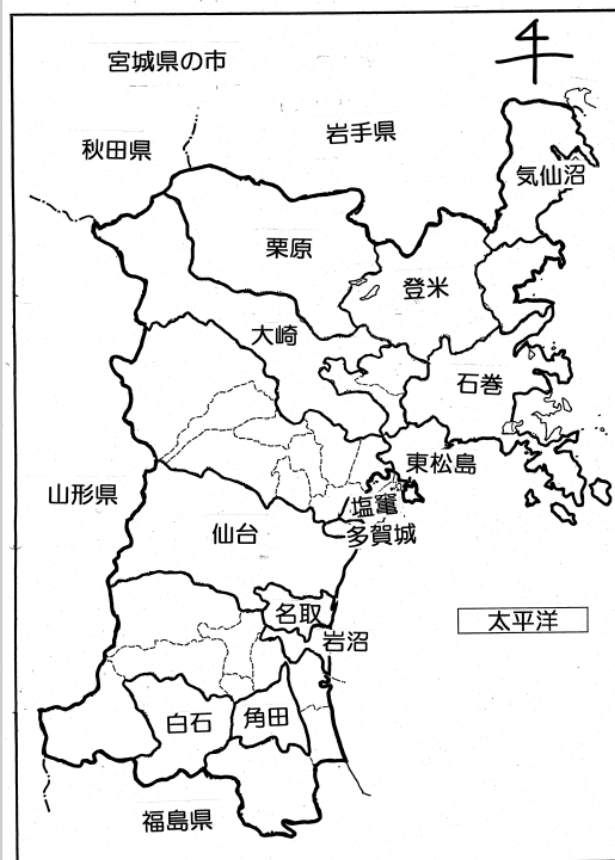
＊生徒の視野によって変わってくる。

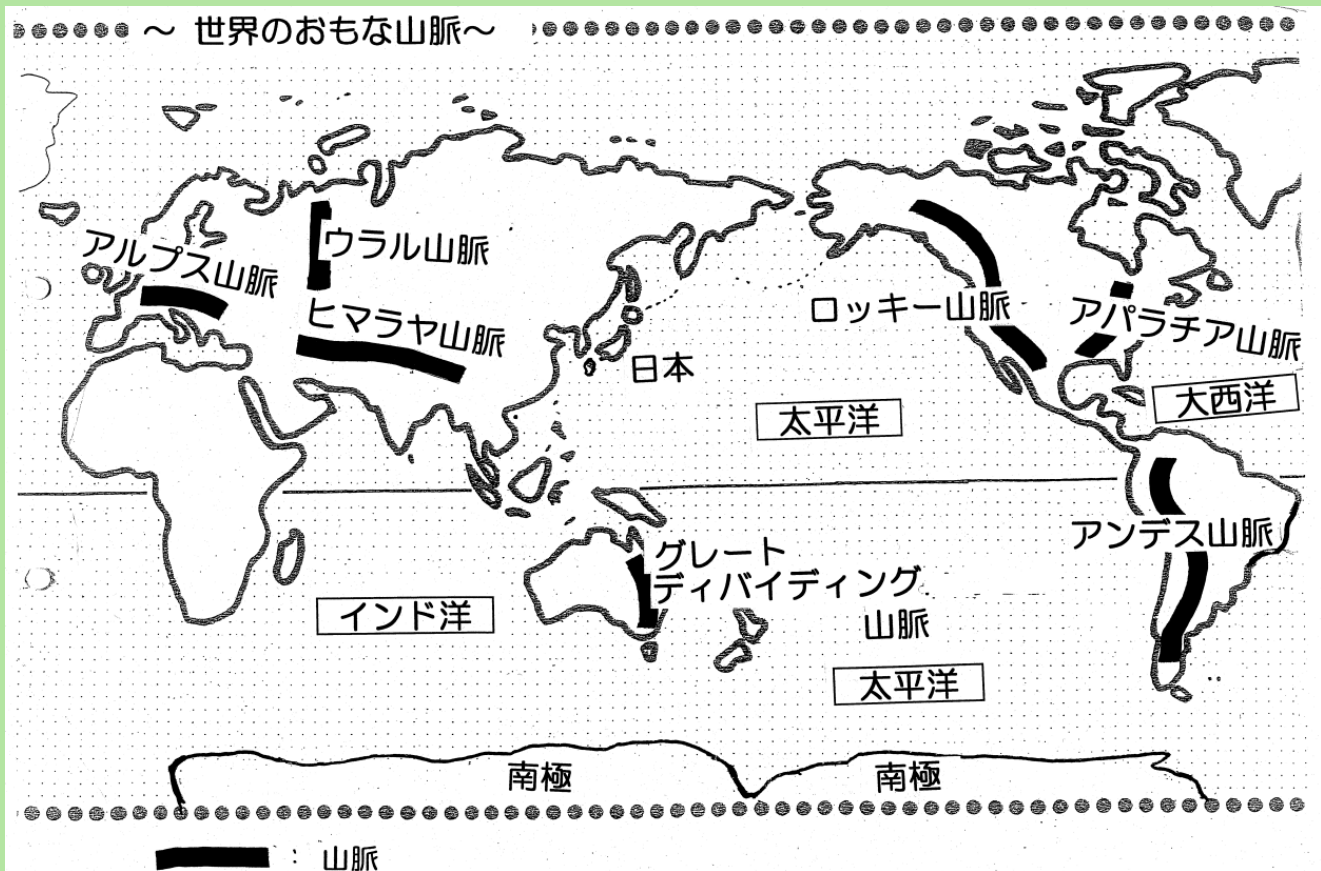
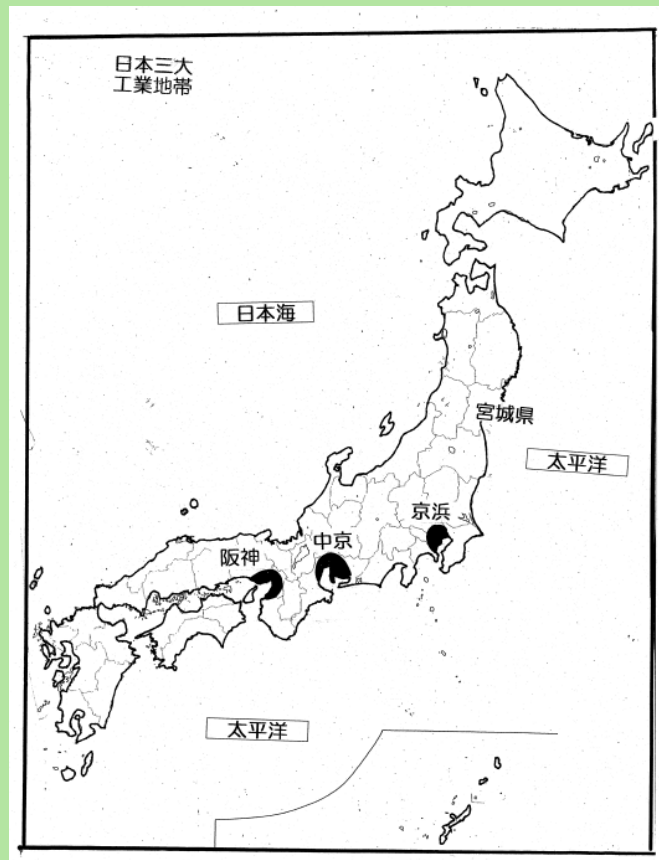


(2) 地図・グラフ資料

①地図：資料4－①②③（現物）

- ・情報は必要最小限にする。
- ・色は基本的に使わない白黒
- ・記号は統一する。
- ・日本地図の場合は、必ず「宮城県」をまたは「仙台市」を
世界地図の場合は「日本」を関係なくとも記入する
→ 地図上での位置関係を確認するため
- ・提示する用紙の大きさはB4まで。
- ・点字使用の生徒に提示するのと同じ版を使う



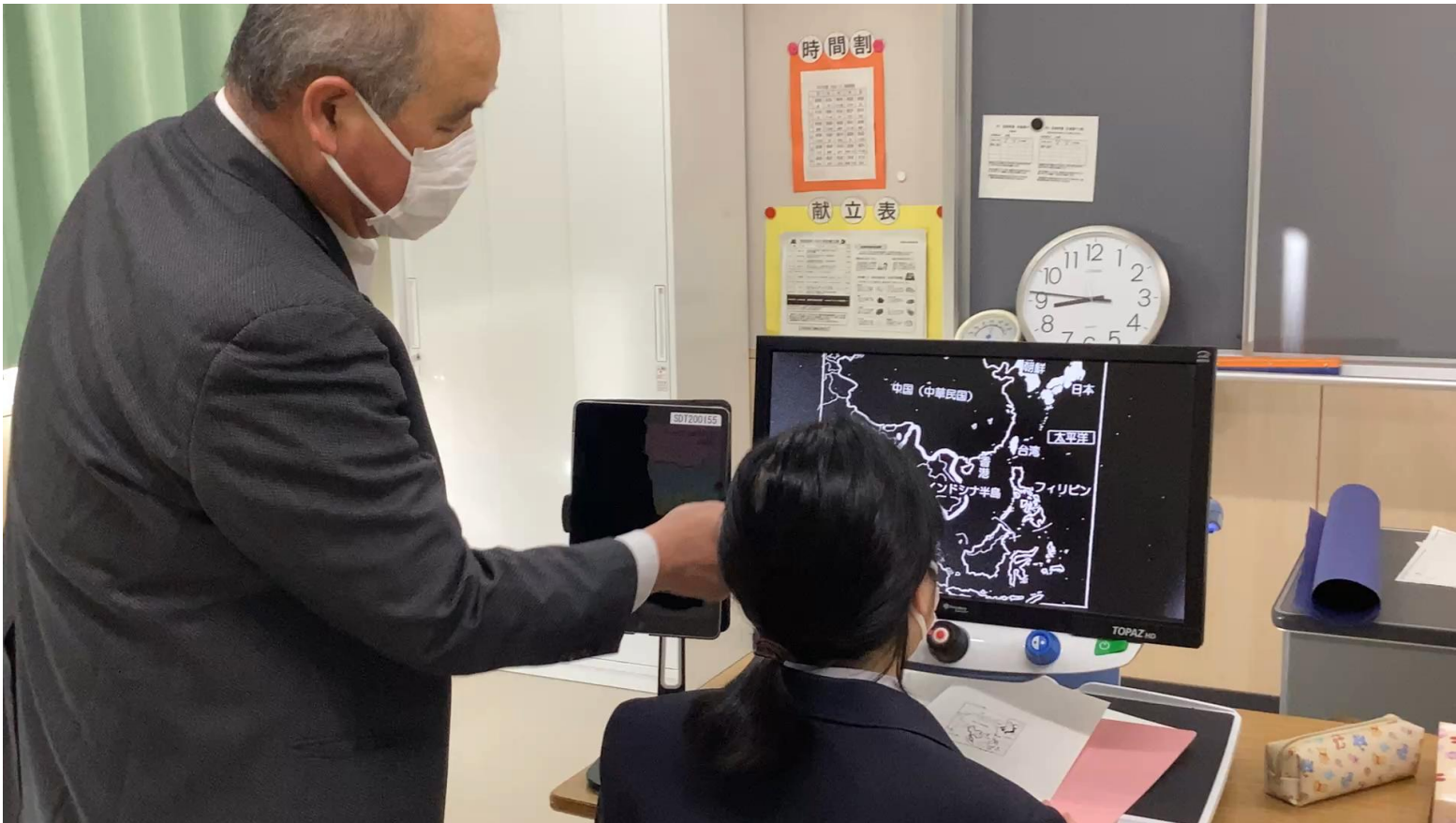


②グラフ：資料5（現物）

- ・地図と同様に情報は必要最小限に
- ・色は使わない
- ・グラフにするのが難しい場合は数表化する
 - ＊項目と数字を結ぶ「導線」が必要：資料6
- ・点字使用の生徒に提示するのと同じ版を使う。

○拡大読書器を使用する生徒の場合：資料7（映像）

- ・A4版やB4版で作成した資料を30%の倍率で縮小コピーしたものを提示する。
 - A4版、B4版などで作成した資料は、拡大読書器でみると資料の全体像が画面に入りきらなくなるため、倍率をしばれば全体像を見ることができきるようにするため。
 - ＊倍率は、拡大読書器の画面の大きさによって適宜調整できるが、統一した方がよい。



3 点字の場合

(1) 文字資料

- 前提：点字は拡大、縮小はできない。
- 基本的に内容は墨字と同じ
 - 墨字で資料を作成し点訳ソフトにかける
 - 点訳ソフトは完璧ではないので、手作業により修正する
 - * 点訳ソフトがあまり優秀でない方が
点訳の技術はアップする(個人的な感想)
- 点字は表音文字なので、墨字では漢字の違いで区別できる同音異義語を区別できないので、適宜「意味」または「どんな感じを使うか」などを加える。

(2) 地図またはグラフ資料

①地図

- ・墨字と同じ版を使用し、立体コピーで作成する。
- ・文字は点字で入れる。点字フォントがある。
- ・墨字と同じく、大きくてもB4版で作成する。

②グラフ

- ・棒グラフや帯グラフ：グラフの棒の部分にすきまをつくる
→ 棒と棒の間に入れた指に
2本のグラフが一度に触れるくらいのすき間をつくる
：墨字の人にとっても見やすいグラフになる
＊1つの棒にいろいろな数値が入っているグラフの
読み取りは点字使用の場合は難しい。

4 最後に

今回の発表の内容に「こんなものか」と思った方も多いのではないかと思います。しかし、この程度のことを積み重ねてここまでできました。ITを用いれば、もっと良い方法はあるのだと思います。

しかし、単純拡大コピーなどは問題外であると考えています。

以前、「この生徒だけ特別扱いするのはどうも」とか「ここまでしなければならないんですか」と言われたことがある。答えは、しなければならないんです。視覚障害をもつ人の眼は最大限、それ以上の配慮をしたとしても、「晴眼」と言われる人よりも見えません。視覚障害に携わるにあたり、見えない、見にくい状態を意識して指導や指導の準備にあたっただけであれば幸いです。

点字入門時期の算数指導の工夫 ～地域の小学校弱視学級における取組～

I 見えにくさによる、学習上・生活上の困難さの実態

本児は、右は光を捉える程度、左の視野は視野狭窄を伴っているが、左下直径4ミリ程度 0.03 の視力を保有し、コントラストがはっきりした色は識別できる。また、眩しさを感じやすい。日常生活の環境判断は、嗅覚、触覚に加え、聴覚を手がかりにして生活している。視野が狭いため、右横から近づくもの、段差に気付かず、周囲の状況を説明することで周囲の人や出来事を理解できるようにしている。

II 授業実践

算数「ひきざん」の単元で、点字の問題文を触読し、内容理解を図った上で、具体物を操作しながら思考を整理し、点字で立式できるようにする。計算の仕方について、ブロックを操作しながら考え方を説明できることを目標において取り組んだ。実際に取る、触る、動かすといった手指の動きで「イメージ」を膨らませ、目的意識を持ちながら教具を操作する「具体的操作」を大切に、本児が思考過程を整理し、数学的事象を言語化した理解したりすることに繋げていきたいと考えた。

(1)「イメージ」への手立て

- ・文章問題については、本児が想像しやすいように身近な話題を取り上げる。
- ・2年生で学習する引き算の筆算で、視覚障害者用そろばんを活用することを考え、十の位から1繰り下げて、ばらの10を一の位に置く活動を取り入れる。触察し、量感を感じ取りながら計算の仕方を考えることができるようにする。

(2)「具体的操作」の手立て

- ・ブロック等を繰り返し活用させ、両手を機能的に使った操作活動の場面を十分に保障する。
- ・計算ボードは、本児の保有視力を活用して黄色のブロックを操作しやすいよう、十の位を緑、一の位を紺色の下地にし、1人で扱えるように配慮する。

(3)「言語化」の手立て

- ・言葉や式等を用いて、自分なりの方法で表現する場面では、「10といくつ」「10のまとまり」を意識させるよう声掛けし、計算ボード上でブロック操作と同時に言葉で説明させていく。

(4)「心理的安定」の手立て

- ・授業の初めに参観者や用具の位置について説明し、環境を把握させる。
- ・第三者である、パペット人形から、アドバイスやヒントになる言葉を教えてもらうことで、本児が思考の幅を広げ、安心して課題に取り組めるようにする。

III 成果

- ・前単元の加法の学習から継続して手作り計算ボード上でのブロック操作を取り入れたことが、数学的事象や問題場面そのものの具体的な「イメージ」につながった。
- ・加法でも慣れ親しんだ文章表現を用いた簡潔な問題文を提示し、さらに保有視力も活用できるように問題へのイメージを持たせるため、凸凹のある色付きシールで表現したことで、意欲的に両手触読に取り組ませることができた。
- ・授業の始めに環境を把握させることで本児童に安心感を与えることができた。
- ・これまでの学習の積み重ねがあったからこそ頭の中でイメージし、考えることができるようになっていた。
- ・自力解決の時間をきちんと確保することができた。



IV 課題と改善策

目の見えない人は視覚以外の他の4つの感覚で補おうとしており、脳内でイメージをつくる訓練を常に行っていると考える。算数科においても、問題文や式等が見えない分だけ、ブロック操作している内に忘れてしまうことがあり、答えに単位を付ける段階で戸惑うこともあった。言語化する段階でも、算数用語がすぐに思い出せず、確認に時間がかかる場面があった。今後も、算数科だけでなく教育活動全般において記憶だけで保持する感覚を磨いていく必要があると感じた。

弱視学級初担任による点字入門指導

～市立小学校における取組～



登米市立石越小学校
教諭 後藤 薫

1

本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- 日常生活・学習支援
- 通常学級での交流学习
- 全校での活動・様子
- まとめ



本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- 日常生活・学習支援
- 通常学級での交流学习
- 全校での活動・様子
- まとめ



3

登米市立石越小学校について



- ・宮城県北部に位置
- ・岩手県一関市に隣接している
- ・全校児童156名（R7.5現在）
- ・全学年単学級
- ・特別支援学級は4学級
- ・旧町1こども園1小1中

本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- 日常生活・学習支援
- 通常学級での交流学习
- 全校での活動・様子
- まとめ

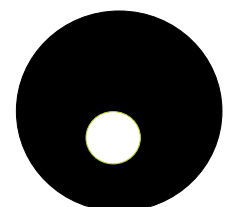


5

児童の実態について



- ・ こども園出身
- ・ 入学前は、年数回、視覚支援
幼稚部に体験学習に参加
- ・ 右目は手動弁
- ・ 左眼は視野狭窄で視力は
0.02程度
- ・ 色は識別できる



左 眼

本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- 日常生活・学習支援
- 通常学級での交流学习
- 全校での活動・様子
- まとめ



7

入学までの準備（ハード面）

弱視学級教室

1年生教室



教室内の机椅子等の配置



教室配置、廊下

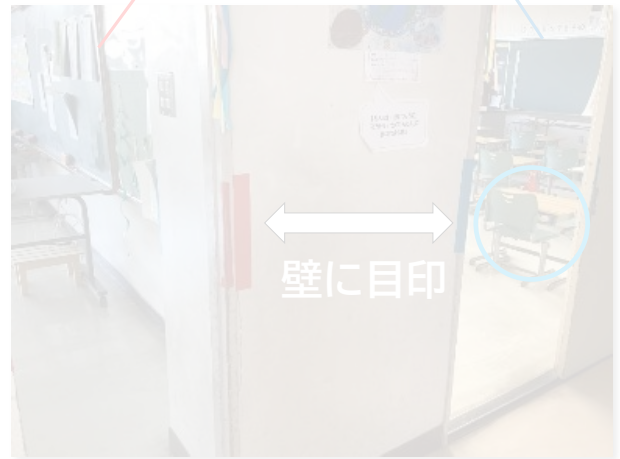
入学までの準備（ハード面）

弱視学級教室

1年生教室



教室内の机椅子等の配置



教室配置、廊下

9

入学までの準備（ソフト面）



視覚支援学校での体験学習



点字学習指導の参考書

日	研修内容	〇記入欄
4/ 2 (水) 15:00~16:00	視覚障害について	○
4/ 3 (木) 13:00~15:30	視覚障害者指導の基本について①	○
4/ 4 (金) 15:10~16:00	点字について（五十音・数字）	○
4/11 (金) 16:05~17:00	聴覚指導と情報機器について	○
4/21 (月) 16:05~17:00	点字について（わががき）	○
5/14 (水) 16:05~17:00	歩行指導の基本について	○
5/21 (水) 16:05~17:00	視覚障害者指導の基本について②	○

視覚支援学校入門研修への参加

- ・ 悩みの解決
- ・ 見識の広がり

本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- 日常生活・学習支援
- 通常学級での交流学习
- 全校での活動・様子
- まとめ



11

点字入門指導

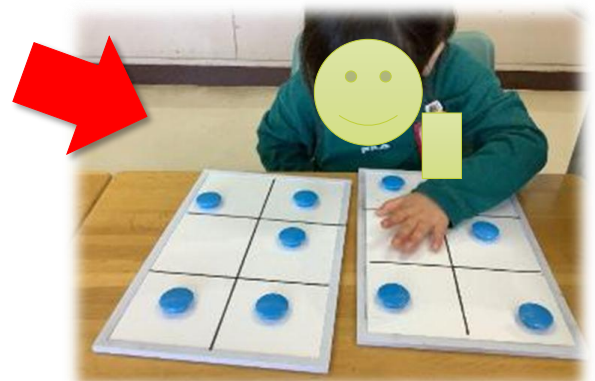
点字学習のレディネス「位置（空間）の学習」

4月 入学1週間目



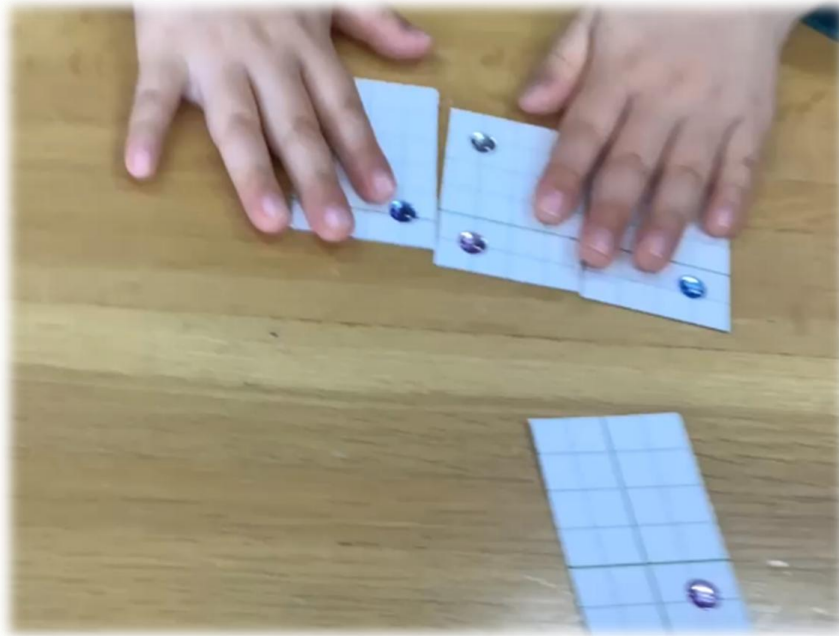
点字一マスの凸面点6つの配列を覚える

4月22日



6点定位の弁別

5月12日



6点の弁別と字音の結び付け

13

4月17日 (初期的な手の運動学習)



「線たどり」(五指の運動や両手の協応)

4月21日

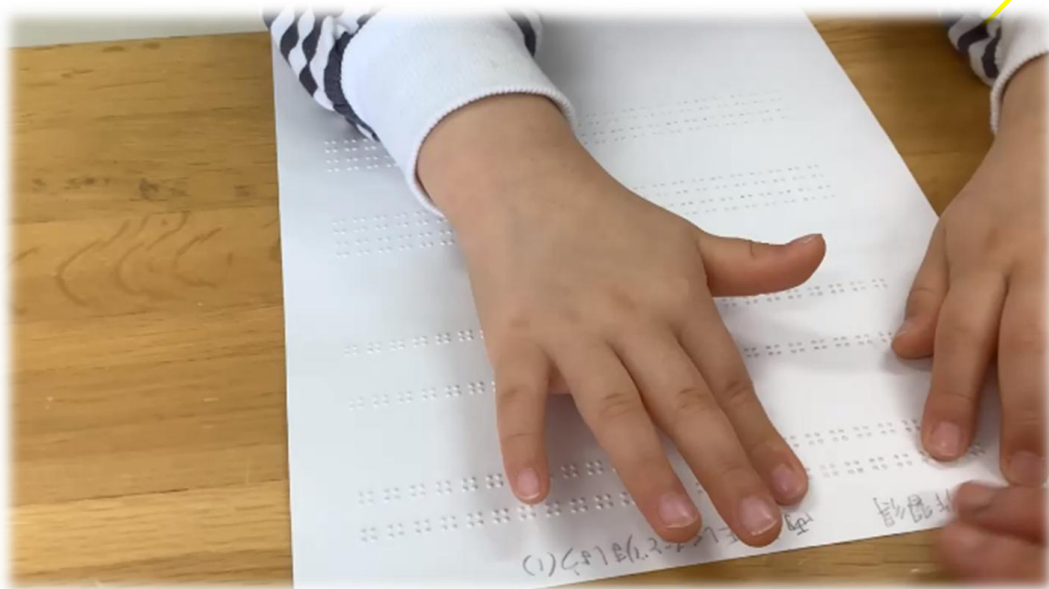


算数 図形の弁別

15

4月21日

両手指で行の終わりまで正しくたどる。



両手読みの動作の習得

本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- **日常生活・学習支援**
- 通常学級での交流学习
- 全校での活動・様子
- まとめ

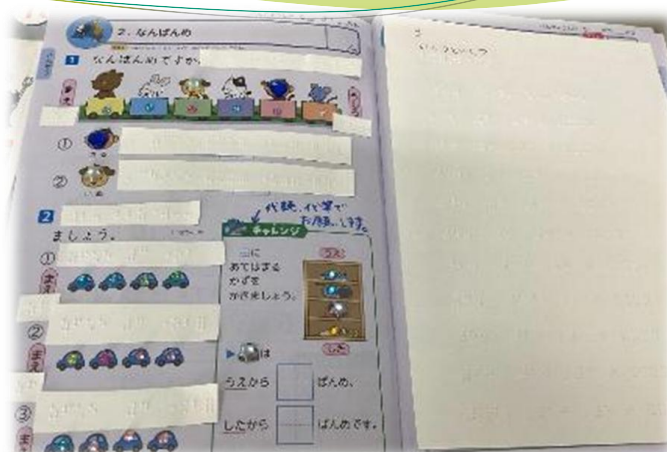


17

日常生活・学習支援



芸術鑑賞会会場の把握



市販のドリルの点字化

休み時間の見守り

本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- 日常生活・学習支援
- **通常学級での交流学習**
- 全校での活動・様子
- まとめ

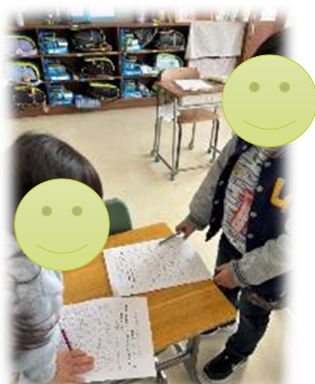
遠足でモーランド本吉へ



19

通常学級での交流学習

生活科（9月）
生き物となかよし（本吉町）



学活「冬休みビンゴ」

学活（10月）
あき探し（米山町平筒沼）



学活「すごろく遊び」

本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- 日常生活・学習支援
- 通常学級での交流学习
- 全校での活動・様子
- まとめ

たてわり活動（体力テスト）



21

全校での活動・様子



難聴学級の児童との交流



学習発表会



休み時間 ブランコ



特別支援4学級 交流学习

全校たてわり活動

23

本日の発表内容

- 石越小学校について
- 弱視学級児童の実態
- 児童の入学までの準備
- 点字入門指導
- 日常生活・学習支援
- 通常学級での交流学习
- 全校での活動・様子
- まとめ



成果

- ・ チームによる入学前の受け入れ支援体制
- ・ 弱視学級初担任へのサポート体制の充実
- ・ 支援学校入門研修へ担任参加、zoomによる教育相談、石越小訪問
- ・ 保護者、教職員、教育委員会指導主事等への授業公開
- ・ 石越小教職員への共通理解

25

課題

- ・ 本児への理解をさらに深める場の設定が必要
- ・ 視覚障害への理解を促す授業の実践
 - 1 年生⇒ 1 月に学活で実施
 - 3 年生⇒ 1 2 月に国語で実施
- ・ 学年が上がるにつれ、点字指導に専門性が必要となる
- ・ 担任が変わる場合、教師の研修が一から必要

弱視学級初担任による点字入門指導

～市立小学校における取組～



＊ご清聴ありがとうございました

登米市立石越小学校
教諭 後藤 薫

第 3 回研修会 実践報告会 質疑応答記録

【実践報告① 荒 先生への質疑応答】

Q. 庄司 見る時の「距離」について 子どもによって、ものを見るとき距離は様々ですが、指導や環境設定で配慮すべきポイントがありますか？

A. 荒 「あまり近くで見ると目に良くないのでは？」と心配される声もありますが、基本的には本人が一番見やすいと感じる距離を優先して大丈夫です。姿勢などはあまり気にしすぎず、「見えること」を一番に考えてあげてください。ただ、顔を近づけすぎると自分の頭で手元に影を作ってしまう、紙面が暗くなって見えにくくなる場合があります。その場合は、書見台などを使って紙に角度をつける工夫を検討してみても良いかもしれません。

Q. 玉川小 カラー教材と図形問題の工夫について 社会科などは白黒でも対応できますが、算数の筆算や図形問題で悩んでいます。担当している子は「青い文字」が見やすい特性があり、今はカラープリントを単純拡大していますが、色分けが重要な図形問題などはどう工夫すべきでしょうか？

A. 荒 悩んだときは、その子に合わせた形で作ってしまうのが一番かもしれません。色だけで区別させるのではなく、網掛けにしたり、点線や太線を使ったりして、「色に頼らない表現」を取り入れてみてください。どんな表現が一番分かりやすいかは、本人に聞きながら進めるのが良いと思います。担任の先生にはご苦勞をおかけしますが、ぜひ工夫してあげてください。

【実践報告② 後藤先生への質疑応答】

Q. 木村 本日は事例実践の発表をいただき、ありがとうございます。私からは、感想と質問を一つずつ述べさせていただきます。少し長くなりますが、まず今年度の石越小学校との連携についてお伝えします。

今年度は、障害理解や点字指導の実践についての来校研修を 10 回、オンラインによる相談を 7 回、本校小学部での授業体験学習を 1 回、石越小への訪問支援を 2 回実施しました。このほか、放課後の時間に児童と保護者が来校し、月 1 回程度、定期的に点字学習を行っています。これらの学習指導は、小学部主事の庄司教諭が担当しています。

後藤先生には、特に年度当初の 4～5 月に 8 回も、本校の入門研修へ授業後に車で駆けつけてご参加いただきました。大変ご負担が大きかったことと思います。本当にありがとうございました。今後も連携や情報共有を継続していければと思います。

県内の弱視学級設置校との連携は、児童生徒の見え方や実態、各学校のニーズに応じて、電話、メール、オンライン、訪問、来校など、その都度方法を変えながら行っています。日頃より各校との連携や情報共有をいただき、大変ありがとうございます。

本日の実践発表では、児童が石越小学校の環境の中でのびのびと活動し、他の児童が墨字の教科書で学ぶ中、点字を使用文字として習得しながら、交流学級でも積極的に生き生きと学んでいる様子を、写真や動画で共有していただき、本当にありがとうございました。

改めて質問ですが、初めて点字指導に取り組まれた実践の中で、教材や教具の作成において苦勞されたことを教えていただければと思います。

A. 後藤 苦労した点は、見えないお子さんの実態が十分に分からなかったことです。現在も完全に把握できているわけではありません。また、点字プリンターがないため、点字タイプライターを自宅に持ち帰って教材を作成しています。自分で一つ一つ打たなければならない点に苦労しています。

Q. 荒 動画を見る限り、触ることに対する抵抗はないように見受けられましたが、いかがでしょうか。タイプライターのほかに点字盤は使用していますか。利き手ははっきりしていないと、鏡文字が生じることがあるとも聞いたことがあります。

A. 後藤 触ることについては、入学から半年ほどかけて少しずつ慣れてきました。ただ、危険なものも多いため、配慮しながら進めています。点字盤については、視覚支援学校小学部と相談しながら検討しています。使用は3年生、4年生頃からを想定しています。

Q. 庄司 春から真剣に、見えない・見えにくい児童の指導に一から取り組まれてこられたことに、心から敬意を表します。毎日、点字が身に付くまで継続して取り組まれてきたことは、さぞ大変だったことと思います。今後も連携しながら進めていければと思います。

また、市販のドリルを点字化されたとのことですが、点字は墨字と混在させず、点字教材と墨字教材は分けて提示した方がよいと思います。

令7年度宮城県特別支援教育研究会

<資料>

令和7年度 宮城県特別支援教育研究会 視覚障害教育専門部役員 名簿

No.	役 名	氏 名	学 校 名	管内
1	部長	名倉 洋	宮城県立視覚支援学校	
2	副部長	大森 奈津子	宮城県立視覚支援学校	
3	幹事（事務局長）	横山 繁徳	宮城県立視覚支援学校	
4	幹事	後藤 薫	登米市立石越小学校	北部
5	監事	横山 文武	宮城県立視覚支援学校	
6	監事	佐藤 佑実佳	大和町立吉岡小学校	仙台
7	運営委員	弱視特別支援学級担任	大崎市立古川北小学校	北部
8	運営委員	弱視特別支援学級担任	大崎市立古川第五小学校	北部
9	運営委員	弱視特別支援学級担任	栗原市立若柳小学校	北部
10	運営委員	弱視特別支援学級担任	登米市立東郷小学校	北部
11	運営委員	弱視特別支援学級担任	石巻市立万石浦小学校	東部
12	運営委員	弱視特別支援学級担任	東松島市立矢本西小学校	東部
13	運営委員	弱視特別支援学級担任	柴田町立東船岡小学校	南部
14	運営委員	弱視特別支援学級担任	岩沼市立岩沼南小学校	仙台
15	運営委員	弱視特別支援学級担任	塩竈市立玉川小学校	仙台
16	運営委員	弱視特別支援学級担任	塩竈市立月見ヶ丘小学校	仙台
17	運営委員	弱視特別支援学級担任	大和町立吉岡小学校	仙台
18	運営委員	弱視特別支援学級担任	多賀城市立山王小学校	仙台
19	運営委員	弱視特別支援学級担任	名取市立増田小学校	仙台
20	運営委員	弱視特別支援学級担任	名取市立関上小中学校	仙台
21	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市立片平丁小学校	仙台市
22	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市立加茂小学校	仙台市
23	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市立幸町小学校	仙台市
24	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市立鹿野小学校	仙台市
25	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市立七郷小学校	仙台市
26	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市立住吉台小学校	仙台市
27	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市中野栄小学校	仙台市
28	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市立七北田小学校	仙台市
29	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市立若林小学校	仙台市
30	運営委員	弱視特別支援学級担任	大崎市立古川東中学校	北部
31	運営委員	弱視特別支援学級担任	栗原市立栗原西中学校	北部
32	運営委員	弱視特別支援学級担任	石巻市立河南東中学校	東部
33	運営委員	弱視特別支援学級担任	石巻市立釜小学校	東部
34	運営委員	弱視特別支援学級担任	南三陸町立歌津中学校	東部
35	運営委員	弱視特別支援学級担任	柴田町立船岡中学校	南部
36	運営委員	弱視特別支援学級担任	利府町立利府中学校	仙台
37	運営委員	弱視特別支援学級担任	仙台市南小泉中学校	仙台市
38	副事務局長	中澤 由美子	弱視特別支援学級担任	
39	事務局	荒 友佳	弱視特別支援学級担任	
40	事務局	荒 政浩	弱視特別支援学級担任	
41	事務局	星 ひかる	弱視特別支援学級担任	
42	事務局	佐藤 慎吾	弱視特別支援学級担任	
43	事務局	畑中 千昭	弱視特別支援学級担任	
44	事務局	木村 恵美	弱視特別支援学級担任	
45	事務局（会計）	佐藤 慶子	弱視特別支援学級担任	
46 ～ 134	会員	88 名 （事務職、非常勤講師を除く）	宮城県立視覚支援学校	